



---

Solaris 7 - 5/99 ご使用にあたって (SPARC 版)

---

Sun Microsystems, Inc.  
901 San Antonio Road  
Palo Alto, CA 94303  
U.S.A. 650-960-1300

Part No: 806-0874-10  
1999 年 7 月

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

RESTRICTED RIGHTS: Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions of FAR 52.227-14(g)(2)(6/87) and FAR 52.227-19(6/87), or DFAR 252.227-7015(b)(6/95) and DFAR 227.7202-3(a).

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリコービイマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェイスマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, SunSoft, OpenWindows, SunOS, AnswerBook2, Solaris Web Start, Java, Java Development Kit (JDK), JumpStart, NFS, HotJava, Solstice AdminSuite, Solstice AutoClient, DiskSuite, SunLink, Ultra, XGL は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標もしくは登録商標です。

サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPENLOOK, OpenBoot, JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Netscape と Netscape Navigator は、米国 Netscape Communications Corporation の商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn6 は、オムロン株式会社で開発されたソフトウェアです。(Copyright OMRON Co., Ltd. 1998 All Rights Reserved.)

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

ATOK7 は株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK7 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

ATOK8 は株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

DtComboBox ウィジェットと DtSpinBox ウィジェットのプログラムおよびドキュメントは、Interleaf, Inc. から提供されたものです。(Copyright (c) 1993 Interleaf, Inc.)

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われないものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Solaris 7 5/99 Release Notes (SPARC Platform Edition)

Part No: 806-0224-10

Revision A

© 1999 by Sun Microsystems, Inc.



# 目次

---

はじめに vii

## 1. Solaris 7 - 5/99 の構成 1

製品の種類と出荷形態 1

「Solaris 7 - 5/99 デスクトップ製品」および「Solaris 7 - 5/99 サーバー製品」の構成 1

Solaris 7 - 5/99 Software CD (SPARC 版) 1

Solaris 7 - 5/99 Documentation CD (日本語版) 2

Solaris 7 - 5/99 Documentation CD 3

Netscape Communicator 4.5 CD (日本語版) 3

Solaris 7 インストールの手引き 3

Solaris 7 - 5/99 ご使用にあたって (SPARC 版) (本書) 4

Solaris 7 インストールライブラリ (SPARC 版) 4

日本語入力用図形文字コード表 5

Binary Code License (ソフトウェア使用許諾契約書) 5

Binary Code License (Terms & Conditions) 6

## 2. インストールにあたって 7

カスタマサポートへの連絡 8

サポートハードウェア 8

必要なメモリー 8

	必要なスワップ領域	8
	必要なディスク容量	9
	Solaris Software CD のソフトウェア容量	10
	Solaris Documentation CD のソフトウェア容量	11
	Netscape Communicator CD のソフトウェア容量	14
	日本語環境のインストール方法	14
	デフォルトロケールの設定	14
	インストール言語の設定	15
	オンラインリリース情報	17
	参照方法	17
	インストール方法	18
<b>3.</b>	<b>インストールに関する注意事項とバグ情報</b>	<b>19</b>
	Solaris 7 - 5/99 インストールの注意事項とバグ情報	19
	Solaris Web Start 1.0 インストールに関する注意事項とバグ情報	20
	対話式インストールに関する注意事項とバグ情報	21
	アップグレードに関する注意事項とバグ情報	23
	インストール全般に関するバグ情報	26
	64 ビット Solaris に関する注意事項とバグ情報	28
	AnswerBook2 に関するバグ情報	29
	Solaris 7 - 5/99 インストールの注意事項とバグ情報 (日本語環境固有)	29
	Solaris Web Start 1.0 インストールに関する注意事項とバグ情報	30
	アップグレードに関する注意事項とバグ情報	34
	インストール全般に関する注意事項とバグ情報	35
<b>4.</b>	<b>実行時の注意事項とバグ情報</b>	<b>39</b>
	Solaris 7 - 5/99 実行時の注意事項とバグ情報	39
	Solaris CDE に関するバグ情報	40
	システム管理に関するバグ情報	41
	64 ビット Solaris に関するバグ情報	43

	デバッグに関するバグ情報	44
	JDK (Java Development Kit) に関する注意事項とバグ情報	44
	Solaris 7 - 5/99 実行時の注意事項とバグ情報 (日本語環境固有)	45
	Netscape Communicator 4.5 (日本語版) に関するバグ情報	46
5.	機能に関する情報	47
	JDK 1.1.6_03 に関する情報	47
	Java 実行時環境 (JRE; Java Runtime Environment)	47
	大規模ファイルのサポート	48
	JIT コンパイラのパフォーマンス向上	48
	リリース名の命名規則	48
	Sun Enterprise 6x00、5x00、4x00、3x00 システムの動的再構成 (DR)	49
6.	製品の中止情報	51
	サポート中止予定のソフトウェア	51
	sysidnis (1M) システム認識プログラム	51
	XIL	51
A.	<b>Maintenance Update</b> パッチリスト (SPARC 版)	53
	パッチリスト	53



## はじめに

---

本書『Solaris 7 - 5/99 ご使用にあたって (SPARC 版)』は、Solaris™ 7 - 5/99 をご使用になるにあたって最初に読んでいただくマニュアルで、今回のリリースに関する最新情報が記述されています。

本書では、Solaris 7 - 5/99 オペレーティング環境ソフトウェアをインストールする前に必要な情報、リリース直前に明らかになった情報や問題点を中心に説明します。

Solaris 7 - 5/99 リリースに関するマニュアルとして、本書の他に『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』がオンラインのテキスト形式で提供されています。

『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』については、17ページの「オンラインリリース情報」の説明を参照してください。

---

注 - 本書の第3章は、『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』の `installation_bugs` ファイル中の内容よりも優先されます。

---

注 - 今回の Solaris の製品名称は「Solaris 7 - 5/99」ですが、コード、パス名、パッケージパス名などで、「Solaris 2.7」または「SunOS 5.7」という名称が使用されていることがあります。コード、パス、パッケージパスなどを実際に入力または使用するときには、必ずマニュアル中に記述されている名称に従ってください。

---

---

## 対象読者

本書は、Solaris 7 - 5/99 ソフトウェアをインストールして使用する方を対象としています。Solaris についての知識を持つ方、現在習得中の方を対象としています。

---

## 内容の紹介

本書は、次のように構成されています。

第 1 章では、Solaris 7 - 5/99 に含まれるデスクトップ用およびサーバー用の CD やマニュアルの構成について説明します。

第 2 章では、Solaris 7 - 5/99 をインストールするために必要なメモリーおよびディスクの容量、日本語環境のインストールについての概要などを説明します。この章の内容を理解してから、インストールを開始してください。

第 3 章では、Solaris 7 - 5/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』の `installation_bugs` ファイルの内容を修正および追加した、インストールに関する注意事項とバグの最新情報を説明します。この章の内容を理解してから、インストールを開始してください。

第 4 章では、Solaris 7 - 5/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』の `runtime_bugs` ファイルを作成後に明らかになった、実行時の注意事項やバグの情報を説明します。

第 5 章では、Solaris 7 - 5/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』の `new_features` ファイルを作成後に明らかになった、最新情報や新機能について説明します。

第 6 章では、Solaris 7 - 5/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』の `eof` ファイルを作成後に明らかになった、サポートを終了するソフトウェアの機能またはハードウェアについて説明します。

付録 A では、Solaris 7 - 5/99 に統合されているパッチ (Maintenance Update パッチ) のリストを記載しています。

Solaris のほかに付属のソフトウェアをインストールする場合は、付属ソフトウェアに含まれている最新リリース情報を参照して、そのソフトウェアに関する注意事項およびバグ情報を確認してください。

---

## 関連マニュアル

Solaris をインストールするには、本書の内容を理解した上で、次のマニュアルをご利用ください。

- 『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』 (17ページの「オンラインリリース情報」の説明をご覧ください)
- 『Solaris 7 インストールの手引き』
- 『Solaris 7 インストールライブラリ (SPARC 版)』
- 『Solaris 7 のインストール (追補)』
- 『Solaris 7 のシステム管理 (追補)』
- 『Solaris 7 のソフトウェア開発 (追補)』

Solaris のマニュアルは、このリリースに含まれる Solaris 7 - 5/99 Documentation CD で提供されています。

また、Solaris 7 - 5/99 の新機能について説明しているマニュアルも提供されています。これらのマニュアルは、タイトルに (追補) と示されています。

ハードウェア構成によっては、インストールを行うために別途作業が必要になることがあります。ハードウェア固有の作業が必要な場合は、各ハードウェアのメーカーからインストール手順を補足する資料が提供されています。それらの資料も利用して、インストールを行なってください。

---

## Sun のマニュアルの注文

Sun Software Shop プログラムを利用して、米国 Sun Microsystems, Inc. (以降、Sun とします) のマニュアルまたは AnswerBook2™ CD をご注文いただけます。

マニュアルのリストと注文方法については、  
<http://www.sun.com/software/shop> を参照してください。

## Sun のオンラインマニュアル

<http://docs.sun.com> では、Sun が提供しているオンラインマニュアルを参照することができます。マニュアルのタイトルや特定の主題などをキーワードとして、検索を行うこともできます。

## 表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

表 P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、またはコード例を示します。	.login ファイルを編集します。  ls -a を使用してすべてのファイルを表示します。  system%
<b>AaBbCc123</b>	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力とは区別して示します。	system% <b>su</b>  password:
<i>AaBbCc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、rm <i>filename</i> と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイド』を参照してください。

表 P-1 表記上の規則 続く

字体または記号	意味	例
「」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、または強調する単語を示します。	第 5 章「衝突の回避」を参照してください。 この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を越える場合、バックスラッシュは継続を示します。	<pre>sun% grep `^#define \ XV_VERSION_STRING`</pre>

ただし AnswerBook2™ では、ユーザーが入力する文字と画面上のコンピュータ出力は区別して表示されません。

コード例は次のように表示されます。

■ C シェルプロンプト

```
system% command y|n [filename]
```

■ Bourne シェルおよび Korn シェルのプロンプト

```
system$ command y|n [filename]
```

■ スーパーユーザーのプロンプト

```
system# command y|n [filename]
```

[ ]は省略可能な項目を示します。上記の場合、*filename* は省略してもよいことを示します。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。



**注意** - この記号が付いている注意事項に従わない場合は、データ、システム、関連機器などの損傷を起こす可能性があります。

---

## 一般規則

- 「x86」という用語は、一般に Intel 8086 ファミリに属するマイクロプロセッサを意味します。これには、Pentium、Pentium Pro、Pentium II、Pentium II Xeon、Pentium III、Celeron の各プロセッサ、および AMD、Cyrix が提供する互換マイクロプロセッサチップが含まれます。このマニュアルでは、このプラットフォームのアーキテクチャ全体を指すときに「x86」という用語を使用し、製品名では「Intel 版」という表記で統一しています。

## Solaris 7 - 5/99 の構成

---

この章では、Solaris 7 - 5/99 リリースに含まれている CD および印刷マニュアルについて説明します。

---

### 製品の種類と出荷形態

Solaris 7 - 5/99 は、「Solaris 7 - 5/99 デスクトップ製品」と「Solaris 7 - 5/99 サーバー製品」の 2 つの製品構成で提供されます。

---

### 「Solaris 7 - 5/99 デスクトップ製品」および 「Solaris 7 - 5/99 サーバー製品」の構成

「Solaris 7 - 5/99 デスクトップ製品」および「Solaris 7 - 5/99 サーバー製品」の構成について、概要を説明します。

### Solaris 7 - 5/99 Software CD (SPARC 版)



この CD には、主に次のソフトウェアが含まれています。他のどの CD よりも先にインストールしてください。

■ Solaris 7 - 5/99 オペレーティング環境

SunOS™、Solaris 共通デスクトップ環境 (以降、Solaris CDE と表記します)、OpenWindows™ ソフトウェア、日本語入力システム (Wnn6、ATOK8、cs00) などが含まれます。

インストールするには：まず初めに、本書に書かれている既知の問題について確認してください。次に、『Solaris 7 インストールライブラリ (SPARC 版)』の「インストールの手順」を参照してください。

■ Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報

インストールに関する注意事項とバグ情報、実行時のバグ情報、最新情報、パッチ情報、ドライバ更新情報、サポートされなくなった製品の情報を、オンラインのテキストファイルで提供します。

参照するには：17ページの「オンラインリリース情報」をご覧ください。

## Solaris 7 - 5/99 Documentation CD (日本語版)



この CD には、AnswerBook2 文書サーバーソフトウェアと、日本語のオンライン文書コレクションおよびいくつかの英語のオンライン文書コレクション (日本語に翻訳されていない文書を含むもの) が含まれています。

詳細は、表 2-2 を参照してください。

インストールするには：この CD に含まれる README\_ja.html をお読みください。

## Solaris 7 - 5/99 Documentation CD



この CD には、AnswerBook2 文書サーバーソフトウェアと、英語およびヨーロッパ言語のすべての AnswerBook オンライン文書コレクションが含まれています。

Solaris 7 - 5/99 Documentation CD (日本語版) に含まれていない英語のオンライン文書コレクションを参照したい場合にご利用ください。

詳細は、表 2-3 を参照してください。

インストールするには：この CD に含まれる README\_en.html をお読みください。

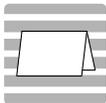
## Netscape Communicator 4.5 CD (日本語版)



この CD には、日本語版の Netscape Communicator 4.5 が含まれています。Solaris Web Start 1.0 によって、デフォルトで Solaris 7 - 5/99 ソフトウェアと同時にインストールされます。

インストールするには：この CD に含まれる readme\_ja.txt をお読みください。

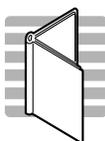
## Solaris 7 インストールの手引き



インストールを始めるにあたって参照するカードです。従来の対話式インストールを行うか、または Solaris Web Start 1.0 インストールを行うかを選択し、それぞれを使用してインストールを行う手順が説明してあります。また、マニュアルの注文方法および Web ブラウザでの参照方法についても説明しています。

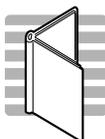
インストールに際しては、本書の第 2 章および第 3 章も必ずお読みください。

## **Solaris 7 - 5/99 ご使用にあたって (SPARC 版) (本書)**



インストールに関するバグ情報や注意事項を中心に説明しています。また、Solaris 7-5/99 Software CD に含まれている『Solaris 7-5/99 オンラインリリース情報』を作成後に明らかになった、バグ情報、最新情報、サポートを中止する予定の製品の情報などを提供します。

## **Solaris 7 インストールライブラリ (SPARC 版)**

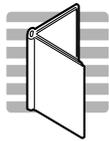


Solaris 7 ソフトウェアのより高度なインストール (以前の Solaris リリースからのアップグレードなど) を行うために必要となる情報を提供します。次の章で構成されています。

- 「インストールの手順」
- 「新規機能一覧」

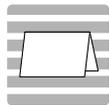
- 「新規機能の概要」
- 「Solaris Web Start の使い方」
- 「システムのアップグレード」
- 「インストール時の問題解決」
- 「インストール後のソフトウェアの追加と削除」
- 「オンライン文書へのアクセス」
- 「CUI インストールの日本語訳」

## 日本語入力用図形文字コード表



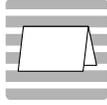
Solaris 7 オペレーティング環境で日本語入力システムを使用して図形文字を入力するための、コードと図形文字の対応、ja\_JP.PCK および ja\_JP.UTF-8 ロケール利用時の注意事項を説明しています。

## Binary Code License (ソフトウェア使用許諾契約書)



ソフトウェア使用の許諾に関する記述が含まれています。

## Binary Code License (Terms & Conditions)



上記の「ソフトウェア使用許諾契約書」に対する補足条項が含まれています。

## インストールにあたって

この章では、Solaris 7 - 5/99 をインストールするために必要なメモリーおよびディスクの容量、日本語環境のインストールについて説明します。また、本書を作成する前の情報が書かれている『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』のインストール方法および参照方法についても説明します。

注 - 本章の内容を理解してからインストールを開始してください。この章に記載されている情報は、Solaris 7 - 5/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』の installation\_bugs ファイルの内容よりも優先されます。オンラインリリース情報については、17ページの「オンラインリリース情報」の説明を参照してください。

以下に、Solaris 7 - 5/99 で提供されるインストール方法を簡単に説明します。

インストール方法	説明
従来の対話式インストール Jump Start™ カスタム Jump Start	Solaris ソフトウェアだけをインストールする。 (Solaris 7 - 5/99 Software CD に含まれている)
Solaris™ Web Start 1.0	Solaris ソフトウェアおよび同梱の CD に含まれる別ソフトウェアを一度に容易にインストールできる。 (Solaris 7 - 5/99 Software CD に含まれている)
Solaris Web Start 2.0 (installer)	Solaris がインストールされた環境に、同梱の CD に含まれる別ソフトウェアを共通のユーザーインタフェースで容易にインストールできる。 (同梱の CD に含まれている)

---

## カスタマサポートへの連絡

サポートに関連する問題については、ご購入先にお問い合わせください。また、Sun についての情報は、以下の Web ページをご覧ください。

- <http://access1.sun.com>
- <http://www.sun.com>
- <http://www.sun.co.jp> (サン・マイクロシステムズ株式会社)

---

## サポートハードウェア

Solaris 7 - 5/99 は、すべての sun4c、sun4d、sun4u プラットフォーム (アーキテクチャ) をサポートします。また、ほとんどの sun4m プラットフォームもサポートしています。詳細は、ご購入先にお問い合わせください。

---

## 必要なメモリー

32M バイト以上の物理メモリーが必要です。Solaris CDE や OpenWindows などの日本語デスクトップ環境を使用する場合には、64M バイト以上確保することをお勧めします。

また、Solaris Web Start 1.0 によるインストールを日本語表示で行うには、最小 64M バイトの物理メモリーが必要です。詳細は、30ページの「システムの最小要件」を参照してください。

---

## 必要なスワップ領域

スワップ領域は、実メモリーとの合計が少なくとも 64M バイトになるように確保することを推奨します。さらに、日本語デスクトップ環境を使用する場合には、実メモリーとの合計が 128M バイト以上になるように確保してください。

---

注 - 物理メモリーが 64M バイト未満のシステムに、従来の対話式インストールでファイルシステムの自動配置を行なった場合に確保されるスワップ領域は、上記の要件を満たしていません。この場合は、手動でサイズを変更してください。

---

## 必要なディスク容量

今回のリリースで標準提供される Solaris Software CD、Solaris Documentation CD、Netscape Communicator CD をインストールするのに必要なディスク容量について説明します。

上記のソフトウェアをシステムにインストールするには、インストールするソフトウェアとディスクの構成によってファイルシステムを構築する必要があります。

Solaris Web Start 1.0 (Solaris 7 - 5/99 Software CD に含まれている) を使うと、Solaris オペレーティングシステムおよび同梱の別ソフトウェアをインストールするためのファイルシステムが自動的に配置され、これらの CD を一度に容易にインストールすることができます。

一方、従来の対話式インストール<sup>1</sup>では、Solaris オペレーティングシステムだけをインストールするように設計されているので、同梱のソフトウェア容量も考慮したファイルシステムの自動配置を行うことはできません。

同梱のソフトウェアもインストールする場合には、それらのソフトウェア容量を考慮してファイルシステムを手動で構成する必要があります。そして、Solaris オペレーティングシステムのインストール終了後に、同梱の CD に含まれている Solaris Web Start 2.0 (installer) または、各ソフトウェアのインストール手順に従って、同梱のソフトウェアをインストールしてください。

なお、Solaris Easy Access Server 2.0 をご利用になる場合、含まれている各製品のソフトウェア容量については、『Solaris Easy Access Server 2.0 インストールライブラリ』を参照してください。

---

1. システムが Solaris Web Start 1.0 を実行するための要件を満たしていない場合、またはアップグレードや細かいインストール設定を行いたい場合などには、従来の対話式インストールを行う必要があります。

## Solaris Software CD のソフトウェア容量

次の表は、Solaris 7 - 5/99 オペレーティングシステム (日本語版) だけをインストールするために必要なディスク容量を、インストールするロケール別に示しています。記載されている値は、必要な容量の推奨値 (カッコ内は最小値) です。また、スワップ領域に必要な容量は含まれていません。

なお、従来の対話式インストールで「ソフトウェアの選択」画面に実際に表示される各ソフトウェアグループの値は、スワップ領域を含んだ値で、インストールするシステムのディスクやメモリーのサイズによって異なります。

表 2-1 Solaris 7 - 5/99 Software CD (SPARC 版) のソフトウェア容量 (単位: M バイト)

ソフトウェアグループ	必要な容量の概算推奨値 (カッコ内は最小値)			
	ja(EUC) のみ	PCK のみ	UTF-8 のみ	全部
全体ディストリビューションと OEM サポート	1022 (870)	1013 (862)	1021 (869)	1073 (913)
/	70 (60)	70 (60)	70 (60)	72 (61)
/usr	936 (796)	927 (789)	936 (795)	985 (837)
/opt	19 (17)	19 (17)	19 (17)	20 (17)
全体ディストリビューション	1003 (852)	994 (846)	1002 (852)	1053 (896)
/	62 (53)	62 (53)	62 (53)	64 (55)
/usr	923 (784)	914 (778)	922 (784)	971 (826)
/opt	18 (15)	18 (15)	18 (15)	18 (15)
開発者システムサポート	933 (794)	925 (787)	933 (794)	983 (837)
/	59 (50)	59 (50)	59 (50)	61 (52)
/usr	862 (733)	854 (726)	862 (733)	910 (774)
/opt	12 (10)	12 (10)	12 (10)	12 (10)
エンドユーザーシステムサポート	588 (499)	581 (493)	587 (499)	614 (523)
/	54 (46)	54 (46)	54 (46)	55 (47)
/usr	523 (444)	516 (438)	522 (444)	548 (467)
/opt	11 (9)	11 (9)	11 (9)	11 (9)

---

注 - この表に記載されている値は、sun4u アーキテクチャのシステムにソフトウェアをデフォルトでインストールする場合に必要な容量で、64 ビット (sparc v9) サポートパッケージの容量を含んでいます。64 ビットパッケージをインストールしない場合や、sun4u 以外のアーキテクチャにインストールする場合には、この表の値よりもおよそ推奨値で 130 MB、最小値で 110 MB ほど少ない容量で済みます。

---

## Solaris Documentation CD のソフトウェア容量

Solaris 7 - 5/99 では、日本語版と英語+ヨーロッパ言語版の、2 種類の Documentation CD が提供されます。

日本語版の Documentation CD 「Solaris 7 - 5/99 Documentation CD (日本語版)」には、日本語の AnswerBook パッケージおよび一部の英語の AnswerBook パッケージ (日本語に翻訳されていない文書コレクションを含むもの) が含まれており、すべての日本語ロケールで共通なパッケージとなっています。

英語+ヨーロッパ言語版の Documentation CD 「Solaris 7 - 5/99 Documentation CD」には、英語およびヨーロッパ言語のすべての AnswerBook パッケージが含まれています。

次の表に、「Solaris 7 - 5/99 Documentation CD (日本語版)」に含まれているパッケージとその容量を示します。これらのパッケージは、デフォルトで /opt にインストールされます。

表 2-2 Solaris 7 - 5/99 Documentation CD (日本語版) のソフトウェア容量  
(単位 : M バイト)

パッケージ	形式	AnswerBook 名	必要な容量の概算値
[日本語]			
SUNWjinab	AB2	Solaris 7 Installation Collection - Japanese	7
SUNWjabe	AB2	Solaris 7 User Collection - Japanese	53
SUNWjaadm	AB2	Solaris 7 System Administrator Collection - Japanese	57
SUNWjabsd	AB2	Solaris 7 Software Developer Collection - Japanese	25
SUNWjdad	AB2	Solaris Common Desktop Environment 1.3 Developer Collection - Japanese	20

表 2-2 Solaris 7 - 5/99 Documentation CD (日本語版) のソフトウェア容量 (単位 : M バイト) 続く

パッケージ	形式	AnswerBook 名	必要な容量の概算値
SUNWamaja	AB2	Solaris 7 Reference Manual Collection - Japanese	40
SUNWjopen	AB2	OpenBoot Collection - Japanese	7
[英語]			
SUNWinab	AB2	Solaris 7 Installation Collection	4
SUNWabsdk	AB2	Solaris 7 Software Developer Collection	21
SUNWaman	AB2	Solaris 7 Reference Manual Collection	87
SUNWakcs	AB2	KCMS AnswerBook	2
SUNWaxg	AB1	Solaris XGL 3.3 AnswerBook	28

注 - AnswerBook (AB1) と AnswerBook2 (AB2) は次の形式のデータを指します。

- 「AnswerBook1」: Solaris 2.6 より前の Solaris で使用されていた形式の AnswerBook のデータ
- 「AnswerBook2」: Solaris 2.6 から新しく導入された SGML 形式の AnswerBook のデータ

参照方法など AnswerBook についての詳細は、『Solaris 7 インストールライブラリ (SPARC 版)』の「オンライン文書へのアクセス」を参照してください。

次の表に、「Solaris 7 - 5/99 Documentation CD」に含まれている、英語パッケージとその容量を示します<sup>2</sup>。これらのパッケージは、デフォルトで /opt にインストールされます。

表 2-3 Solaris 7 - 5/99 Documentation CD のソフトウェア容量 (英語パッケージのみ) (単位 : M バイト)

パッケージ	形式	AnswerBook 名	必要な容量の概算値
[英語]			
SUNWinab	AB2	Solaris 7 Installation Collection	4

2. この表では、ヨーロッパ言語のパッケージは省略しています。\*印が付いているパッケージは、Solaris 7 - 5/99 Documentation CD (日本語版) には含まれていない英語のオンライン文書コレクションです。

表 2-3 Solaris 7 - 5/99 Documentation CD のソフトウェア容量 (英語パッケージのみ)(単位: M バイト) 続く

パッケージ	形式	AnswerBook 名	必要な容量の概算値
SUNWabe *	AB2	Solaris 7 User Collection	16
SUNWadm *	AB2	Solaris 7 System Administration Collection	20
SUNWabsdk	AB2	Solaris 7 Software Developer Collection	21
SUNWdtad *	AB2	Solaris Common Desktop Environment 1.3 Developer Collection	9
SUNWaman	AB2	Solaris 7 Reference Manual Collection	87
SUNWopen *	AB2	OpenBoot Collection	2
SUNWakcs	AB2	KCMS AnswerBook	2
SUNWaxg	AB1	Solaris XGL 3.3 AnswerBook	28

注 - 英語+ヨーロッパ言語版の Documentation CD 「Solaris 7 - 5/99 Documentation CD」をインストールするには、この CD に含まれている Solaris Web Start 2.0 (installer) を使用し、カスタムインストールで上記の文書コレクションだけを選択してインストールしてください。なお、この CD は Solaris Web Start 1.0 を使用して Solaris 7 - 5/99 ソフトウェアと同時にインストールすることはできないので、インストールするために必要なディスク容量を別に確保しておく必要があります。

次の表に、AnswerBook2 文書サーバー (以降「文書サーバー」とします) を構成するパッケージ SUNWab2r、SUNWab2s、SUNWab2u をインストールするのに必要な容量を示します。文書サーバーについての詳細は、『Solaris 7 インストールライブラリ (SPARC 版)』の「オンライン文書へのアクセス」および Solaris 7 - 5/99 Documentation CD (日本語版) に含まれる README\_ja.html を参照してください。

表 2-4 文書サーバーのソフトウェア容量 (単位: M バイト)

ディレクトリ	必要な容量の概算値
/	1.3
/usr	34

## Netscape Communicator CD のソフトウェア容量

次の表に、Netscape Communicator 4.5 (日本語版) をインストールするのに必要な容量を示します。

表 2-5 Netscape Communicator 4.5 のソフトウェア容量 (単位: M バイト)

ディレクトリ	必要な容量の概算値
/opt	25

## 日本語環境のインストール方法

この節では、Solaris 7 - 5/99 を日本語環境でインストールするための方法を説明します。日本語環境でインストールするには、大きく分けて「デフォルトロケールの設定」と「インストール言語の設定」の 2 つの設定が必要です。それ以外のインストール手順は英語版の Solaris と同じです。『Solaris 7 インストールの手引き』に書かれているインストール手順に従ってください。

なお Solaris 7 - 5/99 では、文字エンコーディングが異なる次の 3 つの日本語ロケールがサポートされています。

- 従来の EUC 環境をサポートする ja ロケール
- Solaris 2.6 から PCK 環境をサポートする ja\_JP.PCK ロケール
- Solaris 7 で新たに追加された UTF-8 環境をサポートする ja\_JP.UTF-8 ロケール

## デフォルトロケールの設定

インストール後のシステムのデフォルトロケールを設定します (具体的には、`/etc/default/init` ファイル内に LANG 環境変数が定義されます)。

日本語環境をインストールする場合、システムのデフォルトロケールとして必ず日本語ロケールが設定されている必要はありませんが、設定されていることを推奨します。システムのデフォルトロケールとして日本語ロケールが設定されていると、たとえば、システムログイン時の LANG の設定をユーザーごとに環境設定ファイルで定義しなくても済みます。また、`dtlogin` の言語設定で、デフォルトで日本語ロケールが設定されます。

## ■ GUI (グラフィカル・ユーザーインターフェース) インストールの場合

最初に「Select Language and Locale」画面 (以降「ロケール設定画面」とします) が表示され、ここでデフォルトロケールを設定します。日本語環境でインストールするには、「Japanese EUC (ja)」、「Japanese PC Kanji (ja\_JP.PCK)」、または「Japanese UTF-8 (ja\_JP.UTF-8)」を選択してください。どれを選択するかわからない場合は、「Japanese EUC (ja)」を選択してください。

ここでの設定は、以後起動されるインストール画面の表示言語も決定します。

## ■ CUI (キャラクタ・ユーザーインターフェース) インストールの場合

インストール中にシステムのデフォルトロケールを設定することはできません。また、インストール画面も英語による表示だけです。<sup>3</sup>

システムのデフォルトロケールをインストール後に設定、または変更する場合には、`/etc/default/init` ファイルでの `LANG` 環境変数の設定を次のようにしてから、システムを再起動します。

---

ja ロケールに設定	<code>LANG=ja</code>
ja_JP.PCK ロケールに設定	<code>LANG=ja_JP.PCK</code>
ja_JP.UTF-8 ロケールに設定	<code>LANG=ja_JP.UTF-8</code>
C ロケールに設定	<code>LANG=C</code> または、 <code>LANG=</code> の行を削除

---

また、インストール前にこのデフォルトロケールをあらかじめ設定しておくことも可能です。この事前設定をしておくこと、GUI インストール時にもロケール設定画面が表示されないため、たとえばカスタム `JumpStart` による自動インストールのように意図的にロケール設定画面を表示させたくない場合などに有効です。<sup>4</sup>

## インストール言語の設定

言語 (ロケール) に依存するソフトウェアパッケージ (JFP パッケージ) のインストールを決定します。日本語環境をインストールするには、必ず JFP パッケージをインストールする必要があります。JFP パッケージについての詳細は、『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』の「Solaris 7 - 5/99 パッケージ情報」(package ファイル) を参照してください。

---

3. グラフィカルモニターを装備していないシステムで、Solaris Web Start 1.0 のクライアントサーバーモードによるインストールを行なわなかった (あるいは行えなかった) 場合には、CUI インストールになります。  
4. デフォルトロケールの事前設定を行うには、「ネームサービスに事前に定義しておく方法」または「`sysidcfg` ファイルを使用する方法」の 2 通りがあります。詳しくは、『Solaris のインストール (上級編)』を参照してください。

Solaris 7 - 5/99 では、ja ロケール環境、ja\_JP.PCK ロケール環境、ja\_JP.UTF-8 ロケール環境、そしてそれらの任意の混在環境をインストールすることが可能です。

■ 従来の対話式インストールの場合

「言語の選択 (Select Languages)」画面でインストールする日本語ロケールを選択します。この画面では、あらかじめ選択されたデフォルトロケールが自動的に選択された状態になっています。

たとえば、ja と ja\_JP.PCK の両ロケール環境をインストールするには、ja と ja\_JP.PCK の両方を選択します。

■ Solaris Web Start 1.0 インストールの場合

従来の対話式インストールと同様の方法で、Solaris ソフトウェアおよびインストールする同梱ソフトウェアの各々に対して、日本語ロケールを指定します。なお、日本語化されている製品はそのサポートロケールが表示されており、あらかじめ選択されたデフォルトロケールが自動的に選択された状態になっています。

■ カスタム JumpStart インストールの場合

カスタム JumpStart インストールが参照するプロファイルに locale キーワードを追加します。<sup>5</sup>

ja と ja\_JP.PCK の両ロケール環境をインストールする場合のプロファイルの例を次に示します。

キーワード	値
install_type	initial_install
system_type	standalone
partitioning	default
cluster	SUNWCuser
locale	ja
locale	ja_JP.PCK

なお、このようにプロファイル中で locale キーワードを明示的に定義しない場合でも、デフォルトロケールとして日本語ロケールが設定されていれば、そのロケール環境が自動的にインストールされます。ただし、複数の日本語ロケール環境をインストールするには、プロファイルで指定する必要があります。

5. locale キーワードは、JFP パッケージのインストールに影響しますが、システムのデフォルトロケールを決定するものではありません。

---

## オンラインリリース情報

Solaris 7 - 5/99 Software CD には、『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』がテキスト形式で提供されています。本書は、インストールに関連する情報に加えて、『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』を作成後に明らかになった情報を元に作成されているため、適宜、本書と共に以下のオンラインリリース情報を参照してください。

- インストールの情報と注意事項を提供する `installation_bugs` ファイル

---

注 - 本書の第 3 章は、`installation_bugs` ファイルの内容よりも優先されます。

---

- 実行時のバグ情報と注意事項を提供する `runtime_bugs` ファイル
- 機能についての情報を提供する `new_features` ファイル
- パッチ情報を提供する `patches` ファイル

---

注 - Solaris 7 - 5/99 に統合されているパッチの情報は、本書の付録 A をご覧ください。

---

- パッケージ情報を提供する `package` ファイル
- 製品の中止情報を提供する `eof` ファイル
- ドライバ更新情報を提供する `driverupdate` ファイル
- マニュアルに関する情報を提供する `documentation_issues` ファイル

## 参照方法

テキストエディタや vi エディタなどを利用して各ファイルを参照することができます。インストール前などに Solaris 7 - 5/99 Software CD から直接参照するには、次のディレクトリにアクセスして各ファイルを参照してください。

```
/cdrom/ja_sol_7_599_sparc/s0/Solaris_2.7/Docs/release_info/<locale>
```

Solaris CDE 環境では、フロントパネルにあるアプリケーションマネージャのアイコンを選択し、「インフォメーション」を選択することによって参照できます。各ファイルは、以下のディレクトリの下に配置されています。

- Solaris 7 - 5/99 全般の情報 - ASCII テキスト (C ロケールの場合)

/usr/share/release\_info/Solaris\_2.7/C/

- Solaris 7 - 5/99 全般の情報と日本語環境固有の情報 - EUC テキスト (ja ロケールの場合)

/usr/share/release\_info/Solaris\_2.7/ja/

- Solaris 7 - 5/99 全般の情報と日本語環境固有の情報 - PCK テキスト (ja\_JP.PCK ロケールの場合)

/usr/share/release\_info/Solaris\_2.7/ja\_JP.PCK/

- Solaris 7 - 5/99 全般の情報と日本語環境固有の情報 - UTF-8 テキスト (ja\_JP.UTF-8 ロケールの場合)

/usr/share/release\_info/Solaris\_2.7/ja\_JP.UTF-8/

## インストール方法

『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』は、次のパッケージに含まれています。

- SUNWrdm : On-Line Open Issues ReadMe (英語テキスト)
- SUNWjrdm : Japanese (EUC) On-Line Open Issues ReadMe (EUC テキスト)
- SUNWjprdm : Japanese (PCK) On-Line Open Issues ReadMe (PCK テキスト)
- SUNWjurdm : Japanese (UTF-8) On-Line Open Issues ReadMe (UTF-8 テキスト)

---

注 - SUNWjrdm、SUNWjprdm、SUNWjurdm は、それぞれコードエンコーディングが違っただけで、記述されている内容は同じです。

---

「エンドユーザシステムサポート」以上のソフトウェアグループ (クラスタ) でインストールすると、英語版の SUNWrdm パッケージ、およびインストール言語として選択したロケールに依存する日本語パッケージが自動的にインストールされます。

「コアシステムサポート」でインストールする場合には、Solaris インストール時に「ソフトウェアのカスタマイズ」画面で、「On-Line Open Issues ReadMe (SUNWrdm)」パッケージを明示的に追加選択してインストールしてください。

## インストールに関する注意事項とバグ情報

---

この章では、Solaris 7 - 5/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』の `installation_bugs` ファイルを作成後に明らかになった、インストールに関する最新情報や既知の問題について説明します。

Solaris 全般に関する (ロケールに共通の) 情報と、日本語環境に固有の情報とを分けて説明しています。19ページの「Solaris 7 - 5/99 インストールの注意事項とバグ情報」には、Solaris 7 - 5/99 全般に関する情報が記載されています。29ページの「Solaris 7 - 5/99 インストールの注意事項とバグ情報 (日本語環境固有)」には、日本語環境に固有の情報のみが記載されています。

---

注 - 本章の内容を理解してからインストールを開始してください。この章に記載されている情報は、Solaris 7 - 5/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』の `installation_bugs` ファイルの内容よりも優先されます。オンラインリリース情報については、17ページの「オンラインリリース情報」の説明を参照してください。

---

---

### Solaris 7 - 5/99 インストールの注意事項とバグ情報

この節では、主に次の情報について説明します。

- Solaris Web Start 1.0 インストールに関する情報
- 対話式インストールに関する情報

- アップグレードに関する情報
- 64 ビット Solaris のインストールに関する情報

## Solaris Web Start 1.0 インストールに関する注意事項とバグ情報

この節では、Solaris Web Start 1.0 を使用してインストールを行う場合に発生する問題について説明します。この節に記載されている問題は、Solaris 対話式インストールプログラムを使用する場合には発生しません。

Solaris Web Start 1.0 についての詳細は、『Solaris 7 インストールライブラリ (SPARC 版)』の「Solaris Web Start の使い方」を参照してください。

### クライアントサーバーモードにおけるブラウザサポートの制限

Solaris Web Start 1.0 のクライアントサーバーモードを使用するには、クライアント上に次の2つのソフトウェア構成のうちのどちらか1つがインストールされている必要があります。

- Solaris 2.6、Solaris 7、Solaris 7 - 3/99、Solaris 7 - 5/99 のいずれかと、HotJava™ ブラウザ、Netscape Navigator™ 4.0 ブラウザ、Netscape Navigator 4.5 ブラウザのいずれか
- Windows 95 と、HotJava ブラウザ、Netscape Navigator 4.0 ブラウザ、Netscape Navigator 4.5 ブラウザのいずれか

Internet Explorer や、上記よりも古いバージョンの HotJava および Netscape Navigator では、Solaris Web Start 1.0 の実行または表示が正常に行われません。

上記の制限事項は、Solaris 対話式インストールプログラムを使用するときには発生しません。

### ルート (/) ファイルシステムを移動できない (バグ ID: 4046659)

Solaris Web Start 1.0 ではシステムディスクを選択できますが、その後にルート (/) ファイルシステムをシステムディスクから移動できません。

回避方法：ルート (/) ファイルシステムをシステムディスクから移動する必要がある場合は、Solaris Web Start 1.0 ではなく Solaris 対話式インストールプログラムを使用してください。

## 製品がすべての予約領域を使用しない (バグ ID: 4059182)

Solaris Web Start 1.0 は、インストールするすべての製品に必要な合計ディスク容量に基づいてディスク容量を確保します。インストール後、製品を使用する前にディスク容量の割り当てをチェックすると、かなりの容量が未使用であるように見えます。この容量の一部は未使用のままになる場合もありますが、一部はソフトウェアを実行するときに使用されます。

回避方法 : Solaris Web Start 1.0 が必要とする容量よりも少ないディスク容量を割り当てたい場合は、Solaris Web Start 1.0 ではなく Solaris 対話式インストールプログラムを使用してください。

## 対話式インストールに関する注意事項とバグ情報

この節では、対話式インストールに関連する問題について説明します。

### JumpStart の動作

JumpStart でシステム (新しいシステムおよびインストール済みのシステムを含む) を起動すると Solaris Web Start 1.0 の初期画面が表示されますが、Solaris Web Start 1.0 を終了すれば、JumpStart インストールを実行できます。

### Solaris dtlogin 画面

システムを初めて起動すると、どのデスクトップを使用するかにかかわらず、デフォルトでログイン画面が表示されます。使用するデスクトップを、そのログイン画面で選択することができます。またログイン画面では、ユーザー名とパスワードを入力します。ユーザー名とパスワードが認証されると、デスクトップが表示されます。ログイン画面についての詳細は、dtlogin のマニュアルページ (Solaris CDE マニュアルページに含まれている) または『Solaris 共通デスクトップ環境 上級ユーザ及びシステム管理者ガイド』を参照してください。

### dtlogin に関するシステム管理者向けの注意事項

Solaris CDE システムを運用するシステム管理者は、Solaris CDE の GUI によるログインプログラム (dtlogin) に関する知識を持っている必要があります。『Solaris 共通デスクトップ環境 上級ユーザ及びシステム管理者ガイド』または dtlogin および dtconfig のマニュアルページを参照してください。

## ファイルシステムのマウントでエラーが発生してインストールが失敗する (バグ ID: 4164303)

次のメッセージが表示されます。

```
The Solaris operating environment on slice c0t0d0s0 cannot be upgraded.  
A file system listed in the file system table (vfstab) could not be mounted.
```

ルート (/) の i ノード用にストライプされた DiskSuite™ メタデバイスに格納されている i ノードに、インストールプログラムが割り込み、そのメタデバイスをアップグレード可能なスライスとしてマウントしようとしたと考えられます。この問題が発生した場合は、マウントが失敗してインストールが異常終了します。

## リブート後に TotalNET Advanced Server (SunLink) ドライバでパニックが発生する (バグ ID: 4121961)

次のような警告メッセージが表示されます。

```
Warning: mod_install: MT-unsafe driver 'tnatp' rejected panic[cpu0] /  
thread=7051e040:mutex-enter:bad_mutex lp=1046aa20 owner=7051e040 thread=7051e040
```

ドライバの衝突が発生するため、Solaris 7 オペレーティング環境では TotalNET Advanced Server (SunLink™) をバージョン 5.2 へアップグレードする必要があります。TotalNET Advanced Server 5.0 および 5.1 では、Solaris 7 オペレーティング環境が正常にブートしません。

回避方法 : Solaris 7 オペレーティング環境をインストールする前に、インストールされている TotalNET Advanced Server のすべての構成要素をバージョン 5.2 にアップグレードする必要があります。TotalNET Advanced Server 5.2 は、Solaris Easy Access Server 2.0 CD から入手することができます。アップグレード方法については、添付のマニュアルを参照してください。

## インストールの進捗を示すスケール表示が不正確 (バグ ID: 1266156)

Solaris ソフトウェアのインストール中であるにもかかわらず、「Solaris ソフトウェアのインストール - 実行中」で表示されるスケールが、インストールが完了したことを示す場合があります。スケールがインストール完了を示した後も、イン

ストールプログラムがパッケージを追加していることがあります。インストールが完了したかどうかを、スケール表示で判断しないでください。すべてのインストール処理が完了すると、次のメッセージが表示されます。

```
インストールが完了しました
```

## アップグレードに関する注意事項とバグ情報

この節では、アップグレード時にのみ発生する問題について説明します。

### ディスクレスクライアントのインストールでサーバー上の dfstab ファイル内の変更が保存されない (バグ ID: 4045544)

ディスクレスクライアントを持つサーバーの Solaris オペレーティング環境をアップグレードするとき、/usr に対する dfstab 行のオプションが保存されません。たとえば、dfstab ファイルに次のように入力したとします。

```
share -F nfs -o rw /export/exec/Solaris_2.7_sparc.all/usr
```

アップグレード時に、このエントリが自動的に次のように置換されてしまいます。

```
share -F nfs -o ro /export/exec/Solaris_2.7_sparc.all/usr
```

回避方法：ディスクレスクライアントまたは Solstice™ AutoClient™ を持つ OS サーバーで Solaris オペレーティング環境をアップグレードする前に、各クライアントの /etc/dfs/dfstab ファイルのバックアップを取っておいてください。

### 複数のアーキテクチャを持つサーバーにパッチを適用できない (バグ ID: 1249343)

複数の SPARC カーネルアーキテクチャのディスクレスクライアントを持つサーバー (たとえば、sun4c、sun4d、sun4m アーキテクチャのディスクレスクライアントを持つ sun4u サーバー) をアップグレードした後、サーバーとはカーネルアーキテクチャが異なるクライアントの SUNWkvm パッケージには、パッチを適用できません。

回避方法 : SUNWkvm に関連するパッチを適用する前に、手動ですべての SUNWkvm パッケージを追加してください。

```
# pkgadd -d SUNWkvm.*
```

### アップグレードできるシステムがディスク容量不足のためにアップグレードできないと間違っていると判断される (バグ ID: 4041733)

アップグレードプログラムは、Solaris ソフトウェアのシステムをアップグレードするために必要な容量よりも 30% 多くの容量を見積もります。したがって、アップグレードできるシステムでも、パッケージの選択を解除したり、容量を増やしたりしないとアップグレードできない場合があります。

回避方法 : 手動でファイルシステムのディスク容量を再度割り当ててください。または、「ソフトウェアのカスタマイズ」メニューを選んで、不要なソフトウェアパッケージを削除してください。

### Solaris 2.6 - 3/98 ハードウェアリリースからのアップグレード後に、sun4m の Solstice AutoClient がキャッシュをマウントできない (バグ ID: 4121951)

システムのリポート時に、Solstice AutoClient から次のようなメッセージが出力されます。

```
fsck -F cacheufs: Cache directory /.cache/rootcache does not exist.  
mount -F cacheufs: cache fsck mount failed  
fsck -F cacheufs: Cache directory /.cache/rootcache does not exist.  
mount -F cacheufs: cache fsck mount failed
```

/(ルート) ファイルシステムのファイルシステムの種類が cacheufs であることが、カーネルに対して通知されています。この問題によって影響を受ける Solstice AutoClient があるかどうかを、システムのアップグレード前に調べるには、サーバー上の /export/root/<クライアント名>/var/sadm/pkg ディレクトリ (Solstice AutoClient 上の /var/sadm/pkg ディレクトリ) を確認してください。このディレクトリに TADcar というサブディレクトリがある場合は、上記の問題によって影響を受ける Solstice AutoClient があります。

回避方法: アップグレード後に、Solstice AutoClient の /etc/system ファイル中に次の行を追加してください。

```
rootfs:cacheufs
```

Solstice AutoClient 上の /etc/system ファイルが、サーバー上に /export/root/<クライアント名>/etc/system として格納されます。

### サーバーをアップグレードしたときに一部のパッチがクライアントに適用されない (バグ ID: 4175220)

サーバーをアップグレードしたときに、Solaris 7 - 5/99 Software CD の Patches ディレクトリにあるパッチがサーバー上のクライアント OS へ自動的に適用されません。

回避方法: サーバーのアップグレードが完了した後に、Patches ディレクトリにあるパッチをサーバー上のクライアント OS に適用してください。

### Solaris 2.6 - 3/98 または Solaris 2.6 - 5/98 ハードウェアリリースから Solaris 7 にオペレーティング環境をアップグレードした場合 SUNWcvc.u および SUNWdrr.u パッケージがインストールされない (バグ ID: 4229675)

sun4u のディスクレスクライアントまたは Solstice AutoClient を持つサーバーシステムのオペレーティング環境を Solaris 2.6 - 3/98 または Solaris 2.6 - 5/98 からアップグレードしても、パッケージ SUNWcvc.u および SUNWdrr.u がサーバー上のディスクレスクライアント OS または Solstice AutoClient OS にインストールされません。

回避方法: アップグレード完了後に、パッケージ SUNWcvc.u および SUNWdrr.u を sun4u のディスクレスクライアント OS または Solstice AutoClient OS に追加してください。クライアントシステムの名前を *foo* として、手順を示します。

1. Solaris 7 - 5/99 Software CD (SPARC 版) をマウントします。
2. 以下のディレクトリに移動します。

```
# cd /cdrom/cdrom0/s0/Solaris_2.7/Product
```

3. pkgadd コマンドを使用してパッケージを追加します。

```
# pkgadd -R /export/root/foo -d `pwd` SUNWcvc.u SUNWdrr.u
```

## ヨーロッパ言語ロケール用のアップデートパッチを適用してアップグレードするとエラーが発生する (バグ ID: 4230247)

ヨーロッパ言語ロケールのアップデートパッチ 106857-04、107616-01 を適用したシステムをアップグレードすると、次に示すようなエラーメッセージがアップグレードログに記録されます。

```
Doing pkgadd of SUNWplow to /.
pkgadd: ERROR: unable to create package object
</a/usr/openwin/share/locale/de.ISO8859-15>.
    file type <s> expected <d> actual
    unable to remove existing directory at
</a/usr/openwin/share/locale/de.ISO8859-15>
    ....
Installation of <SUNWplow> partially failed.
pkgadd return code = 2

Doing pkgadd of SUNWpldte to /.
WARNING: /a/usr/dt/appconfig/types/de.ISO8859-15
may not overwrite a populated directory.
    .....
pkgadd: ERROR: /a/usr/dt/appconfig/types/de.ISO8859-15
could not be installed.
    .....
Installation of <SUNWpldte> partially failed.
pkgadd return code = 2
```

アップグレードログに示されているディレクトリは、パッチによってシンボリックリンクからディレクトリに変更されます。この変更がアップグレード時にインストールしようとしたパッケージに含まれていないため、上記のエラーメッセージが出力されます。ただし、アップグレードしたシステムのオペレーティング環境に対して、このエラーによる影響はありません。

回避方法: 問題は発生しないので、このエラーメッセージは無視してください。

## インストール全般に関するバグ情報

### ファイルシステムの作成時に警告メッセージが出力されることがある (バグ ID: 4189127)

インストール中にファイルシステムを作成しているときに、次のどちらかの警告メッセージが出力されることがあります。

```
Warning: inode blocks/cyl group (87) >= data blocks (63) in last
cylinder group. This implies 1008 sector(s) cannot be allocated.
```

```
Warning: 1 sector(s) in last cylinder unallocated
```

作成中のファイルシステムと等しい容量が、使用しているディスク上の領域に割り当てられない時に、上記の警告メッセージが表示されます。この場合、ディスク上に未使用の領域ができ、その領域は作成中のファイルシステムに取り込まれません。また、この未使用のディスク領域は、他のファイルシステムでも利用されません。

回避方法:問題は発生しないので、上記の警告メッセージは無視してください。

## OS サーバーに **Solaris 7 OS** サービスを追加すると、追加に失敗したというメッセージが出力される (バグ ID: 4171470)

OS サーバーに OS サービスとして Solaris 7 システムソフトウェアを追加すると、次のようなエラーメッセージが表示されます。

```
os_server: Error: Error adding OS service Solaris 2.7 i386 i86pc:
service modification failed.
See /var/sadm/system/logs/upgrade_log for more information
(/var/sadm/install_data/upgrade_log on Solaris 2.3 or 2.4).
```

`os_server` の部分は、OS サーバーの名前になります。

上記のログファイルを見ると、次のようなメッセージで `SUNWplow` パッケージの追加に失敗していることがわかります。

```
Doing pkgadd of SUNWplow to /.
ERROR: attribute verification of <export/exec/Solaris_2.7_i386.all/etc/default/
init> failed
pathname does not exist
```

回避方法: エラーメッセージを無視してください。

## ユーザーが `inetd.conf` 中のデーモンとサーバーを無効に設定してもパッケージインスタンスによって上書きされる (バグ ID: 4220923)

KCMS プロファイルサーバー、フォントサーバー、CacheFS デーモン、Kerbd デーモンの行が `/etc/inetd.conf` ファイル中にすでに存在しておりコメントアウトされている場合でも、対話式インストールプログラムはそれらの行を追加します。

回避方法: テキストエディタを使用して、`/etc/inetd.conf` ファイル中の不要なエントリを削除またはコメントアウトしてください。

## 64 ビット Solaris に関する注意事項とバグ情報

64 ビット Solaris のインストールに関連する情報について説明します。

### Sun UltraSPARC システム (sun4u) はブート Flash PROM (OpenBoot) をアップグレードする必要がある

UltraSPARC™ システム上で 64 ビット Solaris オペレーティング環境を実行する場合、Flash PROM ファームウェアのアップグレードが必要な場合があります。Solaris 7 インストールプログラムには 64 ビットサポートを追加する選択肢があります。UltraSPARC システムにインストールする場合には、この 64 ビットサポートがデフォルトで選択されます。

---

注 - Sun システムまたは UltraSPARC システムで 32 ビット Solaris オペレーティング環境を実行する場合は、Flash PROM をアップグレードする必要はありません。

---

次の表に、UltraSPARC (sun4u) システムと必要な最小限のファームウェアバージョンを示します。この表に記載されていないシステムでは、Flash PROM をアップグレードする必要はありません。「システムタイプ」は、`uname -i` コマンドによって出力される内容です。また、`prtconf -v` コマンドによって、現在実行しているファームウェアのバージョンを調べることができます。

システムタイプ ( <code>uname -i</code> で出力される)	必要最小限のファームウェアバージョン ( <code>prtconf -v</code> で出力される)
SUNW,Ultra-1-Engine	3.10.0
SUNW,Ultra-1	3.11.1

システムタイプ (uname -i で出力される)	必要最小限のファームウェアバージョン (prtconf -V で出力される)
SUNW,Ultra-2	3.11.2
SUNW,Ultra-4	3.7.107
SUNW,Ultra-Enterprise	3.2.16

注 - Solaris CD を利用して Flash PROM をアップグレードする方法については、『Solaris 7 Sun Hardware Platform Guide』を参照してください。このマニュアルは、<http://docs.sun.com> から入手できます。

## AnswerBook2 に関するバグ情報

ab2cd -s が、ローカルにインストールされた文書コレクションをサーバーに追加しない (バグ ID: 4208243)

CD-ROM から AnswerBook2 サーバーを実行しているとき、ローカルにインストールされた文書コレクションを ab2cd -s コマンドが見つけないため、ローカルにインストールされた文書コレクションがサーバーのデータベースに追加されません。

回避方法: ローカルにインストールされた文書コレクションがある場合は、AnswerBook2 サーバーソフトウェアをインストールしてください。また、CD-ROM からサーバーを実行しないでください。

## Solaris 7 - 5/99 インストールの注意事項とバグ情報 (日本語環境固有)

この節では、日本語環境に固有の次の情報について説明します。

- Solaris Web Start 1.0 インストールに関する情報
- アップグレードに関する情報
- インストール全般に関する情報

## Solaris Web Start 1.0 インストールに関する注意事項とバグ情報

この節では、Solaris Web Start 1.0 を使用する場合のインストールに関する、日本語環境に固有の問題について説明します。この節に記載されている問題は、Solaris 対話式インストールプログラムを使用するときには発生しません。

### システムの最小要件

Solaris Web Start 1.0 を使用するには、システムが次の要件を満たしている必要があります。

- 1.05G バイト以上の容量を持つブートディスク

Solaris Web Start 1.0 を実行するには、1.05G バイト以上のブートディスク (フォーマット済み、ラベル指定済み) が必要です。このディスクをもとにして、プログラムは、選択した製品をインストールするためのディスク容量がシステムにあるかどうかを調べます。サーバーソフトウェアをインストールするには、4.2G バイトのディスクを推奨します。

- 日本語ロケールで 64M バイト以上、英語ロケールで 48M バイト以上の物理メモリー (RAM)

Solaris Web Start 1.0 をスタンドアロン (インストールするマシン上) で実行する場合およびクライアントサーバーモード (ネットワークに接続されている別のシステム上) で実行する場合に必要なメモリー容量は、次のとおりです。

	スタンドアロン	クライアントサーバーモード
日本語ロケール (日本語表示)	64M バイト以上	64M バイト未満 32M バイト以上
英語ロケール (英語表示)	48M バイト以上	48M バイト未満 32M バイト以上

システムがこれらの要件に適合しない場合は、Solaris Web Start 1.0 の代わりに、Solaris 対話式インストールプログラムを使用してください。

なお、英語ロケール (英語表示) で Solaris Web Start 1.0 を実行して日本語環境をインストールするには、以下の手順で行なってください。

1. インストールの始めに表示されるデフォルトロケール画面で英語ロケールを選択します。

2. 各ソフトウェアに対して、インストール言語として日本語ロケールを明示的に指定します。
3. インストールが完了したらシステムを再起動し、システムデフォルトロケールを日本語ロケールに設定します。

## 日本語の **AnswerBook 文書** や **Netscape Communicator 4.5** をインストールする場合の注意事項

Solaris 7 - 5/99 Documentation CD (日本語版) や Solaris Easy Access Server 2.0 Documentation CD に含まれている AnswerBook 文書、および Netscape Communicator 4.5 の日本語パッケージは、各日本語ロケールで共通のものです。これらを Solaris Web Start 1.0 のカスタムインストールによってインストールする場合、ソフトウェアの選択画面で複数の日本語ロケールが表示されますが、どれか 1 つのロケールが選択されていれば、必要な日本語パッケージがインストールされます。

## メモリー不足により **Solaris Web Start 1.0** を継続できない (バグ ID: 4062728)

Solaris Web Start 1.0 の使用中に次のいずれかの警告メッセージが表示され、設定操作を継続できなくなる場合があります。

このシステムには Solaris Web Start を実行するために十分なディスク領域がありません。

ディスク容量が不足しているため、選択したすべてのソフトウェアをインストールできません。インストールするソフトウェアの数を減らしてください。

ソフトウェアのインストールに十分なディスク容量があるにもかかわらず、これらのメッセージが表示された場合は、Solaris Web Start 1.0 を実行するためのメモリーが不足している可能性があります。

たとえば、64M バイト以下のメモリーを持つシステムでヘルプの参照や設定操作を何度も繰り返した場合などに、メモリー不足が発生します。

回避方法 : HotJava をメニューから終了し、Solaris Web Start 1.0 を再起動してください (ブラウザ画面左上にあるボタンメニューから「終了」を選択し、次に表示されるポップアップ画面で「継続」を選択します)。

それでも同じ状況になってしまう場合には、対話式インストールを行うか (Solaris Web Start 1.0 の初期画面で「終了」ボタンを選択します)、英語表示で Solaris Web Start 1.0 を実行してください。

### クライアントサーバーモードで **Solaris Web Start 1.0** インストールを行なった時に、**HotJava** がコアダンプする (バグ ID: **4064364**)

日本語ロケール (日本語表示) で Solaris Web Start 1.0 のクライアントサーバーモードを使用したインストールを行う場合に、ブラウザとして HotJava を使用すると、インストールの途中で HotJava がコアダンプします。

回避方法: \$HOME/.hotjava/properties ファイルに次の 1 行を追加して HotJava を再起動してください。なお、インストールが終了したら、この行は削除してください。

```
package.restrict.access.sun=false
```

### 端末コンソールからクライアントサーバーモードで **Solaris Web Start 1.0** インストールを開始した場合、ヘルプなどが英語で表示される (バグ ID: **4076859**)

端末コンソールしか持たないシステムを Solaris Web Start 1.0 のクライアントサーバーモードを使用してインストールする場合、ロケールの選択をする機能がないため、c ロケールを使用して起動されます。クライアント側で日本語ロケールを使って HotJava を起動した場合、一部のメッセージは日本語で表示されますが、オンラインヘルプなどは英語で表示されます。

### クライアントサーバーモードでは検索ができない (バグ ID: **4076485**)

クライアントのデフォルトロケールに日本語ロケールを選択した場合、日本語文字および英数字の検索ができません。

回避方法: クライアントを c ロケールで起動すると、英数字の検索ができます。

## スワップ不足によって **Solaris Web Start 1.0** が同梱のソフトウェアのインストールに失敗する (バグ ID: 4177538)

同梱されている CD を Solaris Web Start 1.0 でインストール中にスワップ不足が発生し、コンソールに次のエラーメッセージが繰り返し表示されて、インストールに失敗することがあります。また、このエラーメッセージが文字化けすることがあります。

```
MYRun Error:java.io.IOException: not enough disk space
```

これは、64M バイト以下の物理メモリーのシステムに、同梱の多くのソフトウェアをインストールする場合に発生します。

回避方法 : 以下のいずれかの方法で対処してください。

### ■ 回避方法 1

1. 端末エミュレータなどで `reboot` コマンドを実行してシステムをリブートします。

システムがリブートすると、Solaris Web Start 1.0 がリブート前の状態で起動されます。

2. 「再開」ボタンをクリックして、インストールを続行します。

リブート前にインストールが完了したソフトウェアについて、インストールが失敗したように Solaris Web Start 1.0 の画面に表示されることがありますが、インストールは完了していますので問題ありません。

### ■ 回避方法 2

Solaris Web Start 1.0 のカスタムインストールでインストールを最初からやり直してください。その際に、物理メモリーとスワップ領域の合計サイズが SPARC システムの場合は最低 224M バイト、Intel システムの場合は最低 256M バイトになるように、スワップ領域のサイズを確保してください。

## **Solaris Easy Access Server 2.0 Documentation CD** に含まれている「**Release Notes**」中の各ドキュメントがインストールされない (バグ ID: 4177894)

Solaris Web Start 1.0 では、Solaris Easy Access Server 2.0 Documentation CD に含まれている「Release Notes」中のドキュメントをインストールすることができません。

回避方法 : Solaris Easy Access Server 2.0 Documentation CD に含まれている Solaris Web Start 2.0 (installer) を使用して、必要なドキュメントをカスタムインストールでインストールしてください。

## アップグレードに関する注意事項とバグ情報

アップグレードに関する、日本語環境に固有の問題について説明します。

### Solaris 7 アップグレードインストールのサポート範囲

Solaris 7 をアップグレードオプションによってインストールする場合、Solaris 2.5 以降のシステムからのアップグレードをサポートします。それより前のリリースからのアップグレードは保証されません。

### アップグレードでのロケールサポート

アップグレード時に新たなロケールサポートを追加できます。その場合「言語の選択」画面で追加したいロケールを追加選択します。

なお、現在インストールされているロケールをアップグレード時に削除することはできません。また、現在インストールされているロケールとは異なるロケールへアップグレードすることはできません。たとえば、ja ロケールだけをインストールしたシステムを ja\_JP.PCK ロケールだけのシステムにアップグレードすることはできません。

### 「日本語 Solaris 2.5.1 PC 漢字コード開発キット」が入ったシステムからのアップグレード

Solaris 2.5.1 に同梱されていた「日本語 Solaris 2.5.1 PC 漢字コード開発キット」がインストールされているシステムを Solaris 7 にアップグレードする場合、それをサポートするパッケージ (SUNWjpr、SUNWjpu、SUNWjpxw) は自動的に削除されます。ja\_JP.PCK ロケール環境をインストールするには、「言語の選択」画面で「Japanese PC Kanji (ja\_JP.PCK)」を追加選択してください。

### Wnn6 に関するアップグレード時の注意事項

Solaris 2.5 (SMCC 版) および Solaris 2.5.1 (SMCC 版) で提供されていた Wnn6 (OMRONWnn6) を使用していたシステムでアップグレードインストールを行なった場合、/opt/Wnn6/lib/ja\_JP/dic/usr に置かれていたユーザー辞書や学習ファイルは自動的に /var/locale/ja/wnn/ja/dic/usr にコピーされ、新しい環境に引き継がれます。ユーザー辞書などが不要な場合は、

/var/locale/ja/wnn/ja/dic/usr ディレクトリに作成されたユーザーのディレクトリを削除してください。

OMRONWnn6 で変更した設定ファイル (/opt/Wnn6/lib ディレクトリに置かれます) は、自動的に引き継がれません。必要に応じて /etc/lib/locale/ja/wnn ディレクトリにあるファイルを編集してください。標準のファイルは /usr/lib/locale/ja/wnn に置かれます。

OMRONWnn6 は、アップグレードインストールでは削除されません。必要に応じて、アップグレード後に削除してください。ただし、OMRONWnn6 を削除すると、/opt/Wnn6 に置かれたすべてのファイル (変更された設定ファイル、ユーザー辞書、学習ファイルを含みます) が削除されますので、十分に注意してください。

## インストール全般に関する注意事項とバグ情報

日本語環境に固有のインストールに関する注意事項とバグ情報について説明します。

### スワップ不足によって **Solaris Web Start 2.0** インストールが失敗する (バグ ID: 4166394)

同梱されている CD をその CD に含まれている Solaris Web Start 2.0 (installer) を使用して日本語ロケール (日本語表示) でインストールしている時に、スワップ容量が不足したためにインストールが失敗することがあります。この場合、コンソールにエラーメッセージが表示されますが、そのエラーメッセージが次のように文字化けします。

```
RunCmd Error:java.io.IOException: ??????????????????????
```

回避方法 : 同梱されている CD に含まれている Solaris Web Start 2.0 は、実行時におよそ 50M バイトのメモリーを消費します。Solaris Web Start 2.0 を使用してインストールする場合は、`swap -s` コマンドなどで空きスワップ容量を確認し、不足している場合は、メモリーの消費量が多いアプリケーションを終了するか、あるいはスワップファイルを作成してスワップ領域を追加してください。詳細は `swap (1M)` のマニュアルページを参照してください。

## デフォルトロケールに関係なくインストールログが EUC テキストファイルで生成される

選択したデフォルトロケールに関係なく、install\_log、upgrade\_log などの Solaris のインストールログファイルは、EUC (ja ロケール) テキストとして生成されてしまいます。なお、同梱のソフトウェアを Solaris Web Start でインストールした場合に生成されるログファイル bundled\_install\_log は、デフォルトロケールで選択した文字エンコーディングのテキストで生成されます。

回避方法：コードコンバータで変換して参照するか、たとえばテキストエディタなどの GUI ツールを ja ロケールで起動して参照してください。

## Solaris 2.5.1 システム上への Netscape Communicator 4.5 のインストール

Solaris 2.5.1 オペレーティング環境のシステム上に Solaris Web Start 2.0 インストールプログラム (installer) を使用して、Netscape Communicator 4.5 をインストールする場合には、必ず /cdrom/ja\_netscape/Patches/sparc/Sol\_2.5.1 に含まれる 3 つのパッチをインストールしてから、Solaris Web Start 2.0 を実行してください。

また、Solaris 2.5.1 システム上にインストールしたパッケージを削除するには、pkgrm コマンドを使用してください。

## Solaris 7 でサポートされる日本語入力システムとその切替方法

Wnn6、ATOK8、cs00 が日本語入力システムとして利用できます。これらは Solaris 7 - 5/99 Software CD に含まれており、「エンドユーザシステムサポート」以上のソフトウェアグループでデフォルトでインストールされます。

環境ファイルを特に設定していない場合のデフォルトの日本語入力システムは、Wnn6 です。Wnn6 がインストールされていない場合は、ATOK8 がデフォルトとなります。

現在使用している日本語入力システムを他の入力システムに切り替える場合は、ワークスペースメニュー (OpenWindows 環境の場合は「ワークスペース」→「ユーティリティ」) の「日本語入力システムの切替」から利用したい日本語入力システムを選択し、ウィンドウシステムを再起動してください。また、直接コマンド行から wnn6setup、atok8setup、または cs00setup と入力して、設定を切り替えることもできます。この場合もウィンドウシステムを再起動してください。

## 使用しない日本語入力システムをインストールしない方法

使用しない入力システムは、インストール時に「ソフトウェアのカスタマイズ」画面でそのクラスタ (またはパッケージ) の選択を解除することによって、インストールしないようにできます。たとえば、cs00 を使用しない場合は「Japanese Input System - cs00」の選択を解除します。

ただし、アップグレードインストールの場合に、これまで使用していた ATOK8 または cs00 の選択を解除すると、システム上からその入力システムをサポートするシステムファイルも削除されてしまいます。このため、単語を追加登録したシステム辞書などの保存しておきたいファイルがある場合は、アップグレード前にファイルを保存するか、あるいはアップグレードインストール時に、使用しない日本語入力システムを含めてインストールし、アップグレードインストール後に必要なファイルを保存した後に、pkgrm コマンドでそのパッケージを削除してください。

## cs00 に関するインストール時の注意事項

Solaris 2.6 から、cs00 は「コアシステムサポート」ソフトウェアグループには含まれなくなりました。Solaris 2.5.1 以前の「コアシステムサポート」でインストールされたシステムをアップグレードすると、システム上から cs00 をサポートするシステムファイルが削除されますので注意してください。

cs00 を利用する場合は、「エンドユーザシステムサポート」以上のソフトウェアグループを選択するか、インストール時に「Japanese Input System - cs00」クラスタを追加選択するか、インストール後に pkgadd コマンドにより次のパッケージをインストールしてください。

- SUNWjc0r : Japanese Kana-Kanji Conversion Server cs00 Root File
- SUNWjc0u : Japanese Kana-Kanji Conversion Server cs00 User Files
- SUNWjc0w : Japanese cs00 user dictionary maintenance tool for OPEN LOOK
- SUNWjc0d : Japanese cs00 user dictionary maintenance tool for CDE Motif

なお、かな漢字入力機能を持たない漢字表示可能な端末および端末エミュレータ上で日本語を入力するためのフロントエンドプロセッサ m1e を利用する際にも、cs00 が必要になります。

## 日本語キーボード入力

日本語タイプ 5 キーボードは OpenBoot PROM のバージョンによっては、モニターレベルでタイプ 4 キーボードとして動作します。そのため、モニターレベルでは、

キーボード上の印字と実際の入力が一部異なります。次の表を参照してください。その他の注意事項は、U.S. タイプ 5 キーボードと同じです。『Sun タイプ 5 キーボードプロダクトノート』を参照してください。

表 3-1 日本語キーボード上の印字と実際の入力文字

日本語タイプ 5 キーボード上の印字	実際の入力文字
“	@
&	^
’	&
(	*
)	(
Shift-0	)
=	-
~	+
^	=
¥	\
@	[
’	{
[	]
{	}
+	:
:	’
*	“
]	’
}	~
-	LF
\	LF

## 実行時の注意事項とバグ情報

---

この章では、Solaris 7 - 5/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』の runtime\_bugs ファイルを作成後に明らかになった、実行時のバグ情報と注意事項について説明します。オンラインリリース情報については、17ページの「オンラインリリース情報」の説明を参照してください。

Solaris 全般に関する情報と、日本語環境に固有の情報とを分けて説明しています。39ページの「Solaris 7 - 5/99 実行時の注意事項とバグ情報」には、Solaris 7 - 3/99 全般に関する情報が記載されています。45ページの「Solaris 7 - 5/99 実行時の注意事項とバグ情報 (日本語環境固有)」には、日本語環境に固有の情報のみが記載されています。

---

注 - この章に記載されている情報は、Solaris 7 - 5/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』の runtime\_bugs ファイルの内容を補足するものです。

---

---

### Solaris 7 - 5/99 実行時の注意事項とバグ情報

この節では、Solaris 7 - 5/99 実行時の注意事項およびバグ情報について説明します。

## Solaris CDE に関するバグ情報

### dtgreet からリモートログインするとローカルのウィンドウシステムが動かなくなる (バグ ID: 4213502)

CDE のメインログインメニューで「オプション」->「リモートログイン」を選択すると、他のシステムにログインできます。このリモートログインセッションを終了して元のシステムに戻ると、X サーバーが起動しなくなることがあります。その画面上で CDE セッションを開始するには、画面が動かなくなっているシステムにコマンド行からスーパーユーザーでログインして以下のコマンドを実行し、ログアウトしてください。

```
# /etc/init.d/dtlogin stop
# /etc/init.d/dtlogin start
```

回避方法: 上記の問題を防ぐためにパッチ 107180-05 またはそれ以降のバージョンを適用してください。パッチの入手方法については、ご購入先にお問い合わせください。

### フロッピーディスクのフォーマットウィンドウが終了しない (バグ ID: 4211612)

ファイル・マネージャを使用してフロッピーディスクのフォーマットをする場合、フォーマットウィンドウが繰り返し表示されて、フォーマットができないことがあります。

回避方法: 以下のようにして、いったんコマンド行からフロッピーディスクを取り出し、フォーマットウィンドウを終了してください。

```
% eject
```

その後、『Solaris のシステム管理 (第 1 巻)』の「コマンド行でのフロッピーディスクのフォーマットと使用方法」を参考にして、コマンド行からフロッピーディスクをフォーマットしてください。

## システム管理に関するバグ情報

### init がシリアルディスプレイからのキャリアの脱落を認識しないのでデフォルトのコンソールに戻らない (バグ ID: 4191023)

キャリアが失われたときつまり (ログイン時に経由したデフォルトのコンソール上または補助コンソール上にはない) シリアルポートとの接続が切れたときに、そのシリアルポートから `init` コマンドを実行してシステムをシングルユーザーモードまたは管理モードにした場合、システムをリブートする前にそのシリアルポート上にキャリアが再確立されていることを確認してください。(init コマンドの実行対象となったポート上のみ) システムをブートする実行レベルを入力するためのプロンプトが表示されます。

回避方法: キャリアが失われた時には、シリアルポートに再接続してから、システムをリブートしてください。

### スタンドアロンのセッションから `reboot` コマンドを実行したときに、実行レベルを入力するプロンプトが `init` コマンドから表示される (バグ ID: 4191148)

`init` コマンドを使用するシステム管理作業を行なっているとき、`reboot` コマンドを実行すると `init` 状態 (実行レベル) を変更したデバイス上に不適當なメッセージが出力されることがあります。`init s` を実行するとリモートコンソール上にシングルユーザーシェルが確立され、その後システムをリブートすると、以下のようなメッセージが出力されます。

```
Enter run level
```

回避方法: 上記のような場合は、メッセージを無視してください。

### Control-D キーを押すまたは `exit` コマンドを実行した tty 上に表示する `init` コマンドの実行レベルプロンプトが変わる (バグ ID: 4196862)

デフォルトの実行レベルにするために、スーパーユーザーで Control-D キーを押すかまたはスーパーユーザーのログインプロンプトから `root` としてログインした後

に `exit` コマンドを実行すると、デフォルトの実行レベルを入力するためのプロンプトが表示されます。プロンプトは、**Control-D** キーまたは `exit` コマンドが実行されたコンソール上ではなく、`init` コマンドが最初に実行されたコンソール上に表示されます。

`pty` から `init` コマンドを実行した場合は、`/dev/console` がデフォルトのデバイスになり、このデバイス上に実行レベルを入力するためのプロンプトが表示されます。リモートコンソールを実行中にスーパーユーザーとしてログインし、**Control-D** キーを押してシステムをブートすると、実行レベルを入力するためのプロンプトが補助コンソール上ではなくそのコンソール上に表示されます。

### 補助コンソールのポートへの接続時に `init` コマンドが実行レベルを表示しない (バグ ID: 4196993)

1 つまたはそれ以上の補助コンソールを構成している場合に、`init` コマンドが実行された補助コンソールに対する接続をキャリアが切断し、別の補助コンソールまたはデフォルトコンソールから `sulogin` シェルが終了した場合、キャリアが接続を切断したポート上に接続を再確立した後、以下のプロンプトが表示されません。

```
ENTER RUN LEVEL
```

実行レベルを指定するためのプロンプトが表示されませんが、システムは実行レベルが入力されるのを待機しています。

回避方法: キャリアが接続を切断したポートに対して接続を再度確立し、プロンプトが表示されていなくても任意の実行レベルを入力してください。

### コンソールメッセージが補助コンソールにリダイレクトされないことがある (バグ ID: 4197589)

デーモンまたはコマンドは、メッセージを表示するために明示的に `/dev/console` を使用することがあります。そのようなメッセージは、コンソールに表示されるその他のメッセージの中で表示される頻度が低いです。

回避方法: すべてのメッセージは `/dev/console` に出力されるので、これを監視できます。また、`syslog` のログファイルを監視することもできます。

## syslog がメッセージを syslogd へ送ることができないときに /dev/syscon へ送る (バグ ID: 4219265)

syslogd がコンソール上にエラーメッセージを表示する必要がある場合、これらのエラーメッセージはデフォルトの場所 /dev/syscon にリダイレクトされます。エラーメッセージは、機能パッチ中に含まれている構成済み補助コンソール上には表示されません。

## ブート後に UFS 割り当てが使用可能にならない (バグ ID: 4226352)

/etc/vfstab ファイル中に、ディスク割り当て使用可能としてリストされている UFS ファイルシステムがある場合、以下の処理を行なってください。以下の処理を行わないと、システムをブート後にディスク割り当てが自動的に使用可能になりません。

回避方法: 使用可能にするディスク割り当てに対して quotacheck -a と quotaon -a コマンドを実行してください。このコマンドを実行しないと、ディスク割り当てが使用不可のままです。

## 64 ビット Solaris に関するバグ情報

### krtld が sparc9 レジスタシンボルを認識しない (バグ ID: 4203394)

Solaris にバンドルされていないデバイスドライバ、STREAMS モジュール、ファイルシステム、その他のカーネルモジュールをロードするときに、次のようなエラーメッセージが出力されることがあります。

```
kernel_module_path: undefined symbol
WARNING: mod_load: cannot load module 'kernel_module_path'
```

カーネル実行時リンカーは、SC 5.0 コンパイラおよびアセンブラに新しく導入された、64 ビット SPARC バイナリ用のレジスタシンボルを認識しません。

回避方法: 次のコマンドを実行して、エラーメッセージが出力されている原因が、カーネル実行時リンカーによって新しいレジスタシンボルが認識されていないことにあるかどうかを確認してください。

```
# nm kernel_module_path | grep REGI
```

上記のコマンドを実行した結果、次のように値が2および3で、レジスタの種類として REGI と示されている行が出力されている場合は、問題を修正する必要があります。

[154]		2	0 REGI	GLOB	0	UNDEF	
[155]		3	0 REGI	GLOB	0	UNDEF	

次の方法で問題を修正してください。

- カーネルモジュールのソースコードがある場合は、`-xregs=no%appl` オプション付きでカーネルモジュールを再コンパイルしてください。ソースコードがアセンブリ言語で記述されている場合は `-xregsym=no` オプション付きでアセンブルしてください。
- カーネルモジュールのソースコードがない場合は、カーネルモジュールのご購入先にお問い合わせください。

## デバッグに関するバグ情報

### マルチスレッドプログラムのデバッグ時に **dbx 4.0** はスタックトレースをダンプできない (バグ ID: 4207409)

マルチスレッドプログラムをデバッグする際に、dbx 4.0 はシグナルハンドラがあるスレッドスタックを正しくダンプできません。

回避方法 : dbx 5.0 を使用してください。

## JDK (Java Development Kit) に関する注意事項とバグ情報

### スワップ領域が十分でない場合、Java アプリケーションでコアダンプが起きる (バグ ID: 4037312)

スワップ領域が十分でない場合、Java アプリケーションでコアダンプが起き、次のバスエラーが表示されます。

```
not enough space
```

回避方法: システムで動作しているほかのアプリケーションを終了するか、スワップ領域を追加してください。スワップ領域の追加方法については、『Solaris のシステム管理 (第 1 巻)』を参照してください。

### トゥルーカラー環境での性能を改善するためカラーマップを調整する (バグ ID: 4102599)

Java アプリケーションでの X 要求が多いと、8 ビットカラー (TrueColor または PseudoColor) 環境でときどき起動が遅くなります。処理速度の遅いマシン上では、より顕著にこの状態が現れます。起動が遅れる主な原因は、初期化時に awt ライブラリにより最適にディザ処理されるカラーマップの計算です。

回避方法: 初期化時に計算されたカラーマップの大きさを、環境変数 VIRTUCUBESIZE を使用して調整してください。4 から 32 までの間の 2 の累乗数を設定してください。デフォルトは 32 です。

```
setenv VIRTUCUBESIZE 8
```

### -nojit オプションで警告が表示される (バグ ID: 4144550)

-nojit を使用すると、次の警告が表示されます。

```
Warning: JIT compiler "none" not found. Will use interpreter
```

回避方法: -nojit オプションの代わりに -Djava.compiler=NONE を設定してください。

---

## Solaris 7 - 5/99 実行時の注意事項とバグ情報 (日本語環境固有)

この節では、Solaris 7 - 5/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』の runtime\_bugs ファイルを作成後に明らかになった、日本語環境における実行時の注意事項とバグ情報について説明します。

## **Netscape Communicator 4.5 (日本語版) に関するバグ情報**

### **ルートディレクトリ (/) に (null) ディレクトリが作成される (バグ ID: 4190071)**

日本語版 Netscape Communicator 4.5 をスーパーユーザーで起動すると、ルートディレクトリ (/) に不要なディレクトリ“(null)”が作成されます。

回避方法: “/(null)”ディレクトリを削除してください。一度削除すれば、それ以降に再び作成されることはありません。

## 機能に関する情報

---

この章では、『Solaris 7 インストールライブラリ (SPARC 版)』の「新規機能の概要」、および Solaris 7 - 5/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』の `new_features` ファイルの内容を補足する、機能に関する情報を説明しています。オンラインリリース情報については、17ページの「オンラインリリース情報」を参照してください。また、『Solaris 7 のインストール (追補)』、『Solaris 7 のシステム管理 (追補)』、『Solaris 7 のソフトウェア開発 (追補)』にも、新機能に関する情報が記載されていますので併せてご覧ください。

---

## JDK 1.1.6\_03 に関する情報

### Java 実行時環境 (JRE; Java Runtime Environment)

最新バージョンの JDK に対応する JRE を、以下の Web サイトからダウンロードできます。

<http://www.sun.com/solaris/jre>

また、『Solaris Java Runtime Environment (JRE) 1.1.6 Configuration Guide』を [http://www.sun.com/solaris/jre/1.1/jre\\_config.txt](http://www.sun.com/solaris/jre/1.1/jre_config.txt) でご覧ください。

この文書には、以下の情報が記述されています。

- JRE についての概要
- JRE の組み込みと実行について

これらの文書に記述されているバグは JRE に対するものです。ただし、JRE に含まれていないコンポーネントに該当するバグもいくつか記述されています。

## 大規模ファイルのサポート

JDK 1.1.6\_03 から、ファイルにアクセスするクラスおよびメソッドが大規模ファイル (2 ギガバイト [2<sup>31</sup>バイト] 以上) をサポートするようになりました。API は変更されていません。JDK 1.1.6\_03 で実行する Java アプリケーションは、大規模ファイルにアクセスできます。

大規模ファイルは、Solaris 2.6 からサポートされています。

## JIT コンパイラのパフォーマンス向上

JDK 1.1.6\_03 では、高パフォーマンスの JIT コンパイラを導入しています。この JIT コンパイラは、Solaris 2.6 オペレーティング環境にバンドルされている JIT コンパイラを最適化したもので、大幅にパフォーマンスが向上しています。

## リリース名の命名規則

### リリース名文字列

JDK 1.1.6\_03 および以降のリリースの名前は、`java-fullversion` コマンドを使用して表示できます。名前の各部分は、次のような意味があります。

表 5-1 Solaris\_JDK\_1.1.6\_03

Solaris_JDK_	Sun の Solaris JDK 製品リリースすべてに付けられています。
1.1.6	Java Software JDK のバージョン。同じバージョンの Solaris JDK と互換性があります (ただし出荷版の JDK の場合)
03	リリースごとに番号が増えていきます。

## Sun Enterprise 6x00、5x00、4x00、3x00 システムの動的再構成 (DR)

Sun Enterprise 6x00、5x00、4x00、3x00 システムに動的再構成 (DR; Dynamic Reconfiguration) を実装する予定がある場合、以下に示す Sun の Web サイトで、最新情報、Q & A (FAQ)、パッチのダウンロード方法、DR を実行するために必要なファームウェアについてご確認ください。

<http://sunsolve2.sun.com/sunsolve/Enterprise-dr>



## 製品の中止情報

この章では、製品の中止情報について説明します。この章に記載されている情報は、Solaris 7 - 5/99 Software CD に含まれている『Solaris 7 - 5/99 オンラインリリース情報』の eof ファイルの内容を補足するものです。オンラインリリース情報については、17ページの「オンラインリリース情報」の説明を参照してください。

### サポート中止予定のソフトウェア

#### sysidnis(1M) システム認識プログラム

将来の Solaris リリースでは、sysidnis(1M) プログラムが含まれなくなる予定です。sysidnis(1m) は、インストールおよびアップグレード中や、sys-unconfig(1M) によって構成を解除した後に、ネームサービスを構成するためのシステム認識プログラムです。

sysidnis(1M) の機能は、sysidns(1M) に含まれることになる予定です。

### XIL

XIL は将来のリリースでサポートが中止される予定です。XIL プログラムのコンパイル時に次の警告メッセージが出力されます。

```
#error: "XGL has been declared Obsolete and may not be present in
versions of Solaris after 8.
#define SUNXIL_WARNING_DISABLE (or use -D) to disable this message."
```

XIL プログラムをコンパイルするには、次のいずれかの方法で警告メッセージが出力されないようにしてください。

- **#define** をプログラムに追加する

```
#define SUNXIL_WARNING_DISABLE
```

- コンパイラ指令を使用する

```
-DSUNXIL_WARNING_DISABLE
```

## Maintenance Update パッチリスト (SPARC 版)

---

この付録では、Solaris 7 - 5/99 Software CD に含まれているパッチを記載しています。次のいずれかの方法で、パッチが適用されます。

- finish スクリプト

適用されたパッチは、Solaris 7 - 5/99 Software CD をインストールしたシステムの /var/sadm/patch ディレクトリにあります。

- フレッシュビット

パッチは、Solaris 7 - 5/99 Software CD の作成時に適用されています。これらのパッチは /var/sadm/patch ディレクトリにはありません。

showrev -p コマンドを使用すると、上記のどちらの方法でパッチがシステムに適用されているかに関係なく、システムに適用されているすべてのパッチのリストを表示できます。Solaris 7 - 5/99 Software CD にはテスト済みのパッチが含まれています。これらのパッチは、Solaris 7 - 5/99 からバックアウト (削除) することはできません。

---

## パッチリスト

パッチ ID と概要: 106146-05 ; SunOS 5.7 M64 Graphics Patch  
このパッチで修正されるバグ: 4147781 4166676 4166564 4167729 4174185 4174287 4174783 4175630  
4175668 4175851 4178198 4182726 4185216 4185486 4189734 4175585 4191155 4191632 4194640 4198192

続き

4199987 4204624 4205110

パッチ ID と概要: 106147-01 : SunOS 5.7 VIS/XIL Graphics Patch  
このパッチで修正されるバグ: 4163883 4172620

パッチ ID と概要: 106541-04 : SunOS 5.7 kernel update patch  
このパッチで修正されるバグ: 4104625 4112730 4115711 4115715 4132290 4136059 4138467 4139770  
4140352 4147402 4143503 4152055 4155392 4159337 4165983 4154939 4167270 4168739 4170410 4170500  
4174167 4174331 4175350 4175558 4176940 4177334 4177496 4178298 4179342 4179407 4179883 4181570  
4182043 4182047 4182227 4182234 4182240 4182970 4184015 4184305 4184430 4184852 4184877 4185366  
4185742 4186155 4188005 4190083 4190117 4190138 4190405 4190566 4190796 4190807 4190812 4191544  
4192056 4192227 4192420 4192698 4192639 4193375 4193378 4193379 4193380 4193381 4193383 4193467  
4193657 4194789 4196986 4197418 4197450 4197461 4198134 4198723 4198942 4199606 4199032 4200817  
4201921 4203394 4204046 4210841 4211024 4211033 4211618 4212524 4212620 4212634 4213705 4214739  
4216224 4217122

パッチ ID と概要: 106733-05 : SunOS 5.7 Create a patch analyzer  
このパッチで修正されるバグ: 4170691 4175875 4178977 4132282 4186583 4186586 4186587 4186588

パッチ ID と概要: 106793-02 : SunOS 5.7 ufsdump and ufsrestore patch  
このパッチで修正されるバグ: 4077276 4132365 4145883 4169853 4184189

パッチ ID と概要: 106812-04 : SunOS 5.7 ctl print utility patch  
このパッチで修正されるバグ: 4172142 4173334

パッチ ID と概要: 106843-01 : OpenWindows 3.6.1 (japanese) fixed OW ws menu bug for sparc  
このパッチで修正されるバグ: 4177882

パッチ ID と概要: 106857-04 : SunOS 5.7 European locale updates  
このパッチで修正されるバグ: 4179837 4175110 4203951 4193529

パッチ ID と概要: 106879-01 : Power\_Mgmt-SW 7 sys-suspend patch  
このパッチで修正されるバグ: 4174133

パッチ ID と概要: 106915-01 : SunOS 5.7 dtmail in zh.GBK can't read 2.5.1 Chinese email by default.  
このパッチで修正されるバグ: 4182320

パッチ ID と概要: 106917-01 : SunOS 5.7 when view mails change charset, dtmail dump core.  
このパッチで修正されるバグ: 4175029

パッチ ID と概要: 106924-01 : SunOS 5.7 /kernel/drv/isp and /kernel/drv/sparcv9/isp patch  
このパッチで修正されるバグ: 4166035

パッチ ID と概要: 106925-01 : SunOS 5.7 /kernel/drv/glm and /kernel/drv/sparcv9/glm patch  
このパッチで修正されるバグ: 4162302 4176924

パッチ ID と概要: 106926-03 : SunOS 5.7 sdtudctool, sdtudc\_register and sdtudc\_extract patch  
このパッチで修正されるバグ: 4199125 4178971 4183926 4178952 4178964 4162315 4176705 4179808 4192450

パッチ ID と概要: 106934-03 : CDE 1.3 libDtSvc Patch  
このパッチで修正されるバグ: 4181281 4167347 4191060 1194724

(続く)

続き

パッチ ID と概要: 106936-01 : SunOS 5.7 /etc/cron.d/logchecker patch  
このパッチで修正されるバグ: 4094591

パッチ ID と概要: 106938-01 : SunOS 5.7 libresolv patch  
このパッチで修正されるバグ: 4134616

パッチ ID と概要: 106940-01 : SunOS 5.7 /usr/sbin/makedbm patch  
このパッチで修正されるバグ: 4144726

パッチ ID と概要: 106942-01 : SunOS 5.7 libnsl patch  
このパッチで修正されるバグ: 4157559 4161969

パッチ ID と概要: 106944-01 : SunOS 5.7 /kernel/fs/fifofs and /kernel/fs/sparcv9/fifofs patch  
このパッチで修正されるバグ: 4166116

パッチ ID と概要: 106946-01 : SunOS 5.7 /usr/sbin/sar patch  
このパッチで修正されるバグ: 4175435

パッチ ID と概要: 106948-01 : SunOS 5.7 /kernel/drv/qe and /kernel/drv/sparcv9/qe patch  
このパッチで修正されるバグ: 4154455

パッチ ID と概要: 106949-01 : SunOS 5.7 BCP (binary compatibility) patch  
このパッチで修正されるバグ: 4169198

パッチ ID と概要: 106950-03 : SunOS 5.7 linker patch  
このパッチで修正されるバグ: 4159122 4173576 4174468 4176579 4179880 4188527 4188843 4205087

パッチ ID と概要: 106952-01 : SunOS 5.7 /usr/bin/uux patch  
このパッチで修正されるバグ: 4179980

パッチ ID と概要: 106959-01 : SunOS 5.7 last portion of audio file gets chopped or repeats  
このパッチで修正されるバグ: 4184851

パッチ ID と概要: 106960-01 : SunOS 5.7 Manual Pages for patchadd.1m and patchrm.1m  
このパッチで修正されるバグ: 4178212

パッチ ID と概要: 106963-01 : SunOS 5.7 /kernel/drv/esp and /kernel/drv/sparcv9/esp patch  
このパッチで修正されるバグ: 4176942

パッチ ID と概要: 106967-01 : SunOS Release 5.7 htt server unexpectedly restart  
このパッチで修正されるバグ: 4172429

パッチ ID と概要: 106969-01 : SunOS 5.7 zh.GBK, Input Method, Alt+1 sometimes can not work properly  
このパッチで修正されるバグ: 4183054

パッチ ID と概要: 106971-01 : xetops of zh.GBK locale doesn't process TAB character  
このパッチで修正されるバグ: 4187748

パッチ ID と概要: 106973-01 : SunOS 5.7 Correct translation error.  
このパッチで修正されるバグ: 4176030

パッチ ID と概要: 106978-06 : SunOS 5.7 fix for sysid

(続く)

続き

このパッチで修正されるバグ: 4166260 1213369 4204782 4205403 4207595 4208607 4211403 4225369

パッチ ID と概要: 106980-04 : SunOS 5.7 libthread patch  
このパッチで修正されるバグ: 4157739 4173285 4173422 4189981 4207409 4209710 4209713

パッチ ID と概要: 106982-01 : SunOS 5.7 /kernel/drv/fas and /kernel/drv/sparcv9/fas patch  
このパッチで修正されるバグ: 4172361

パッチ ID と概要: 106985-01 : SunOS 5.7 /usr/sbin/uadmin and /sbin/uadmin patch  
このパッチで修正されるバグ: 4167438

パッチ ID と概要: 106987-02 : SunOS 5.7 /usr/sbin/tar patch  
このパッチで修正されるバグ: 4118310 4159872

パッチ ID と概要: 106999-01 : SunOS 5.7 /usr/lib/adb/sparcv9/adbsub.o patch  
このパッチで修正されるバグ: 4164583

パッチ ID と概要: 107001-01 : CDE 1.3 Actions patch  
このパッチで修正されるバグ: 4157154

パッチ ID と概要: 107003-03 : SunOS 5.7 Updated Lucida Hebrew Fonts for Solaris 7  
このパッチで修正されるバグ: 4187022

パッチ ID と概要: 107011-01 : CDE 1.3 sdtwebclient patch  
このパッチで修正されるバグ: 4110777 4164680 4185288

パッチ ID と概要: 107014-01 : XIL 1.4 Deskset Loadable Pipeline Libraries  
このパッチで修正されるバグ: 4177176 4174709

パッチ ID と概要: 107018-01 : SunOS 5.7 /usr/sbin/in.named patch  
このパッチで修正されるバグ: 4134616

パッチ ID と概要: 107022-02 : CDE 1.3 Calendar Manager patch  
このパッチで修正されるバグ: 4184188 4117156

パッチ ID と概要: 107031-01 : SunOS 5.7 /usr/ucb/ucblinks patch  
このパッチで修正されるバグ: 4161576

パッチ ID と概要: 107033-01 : Solaris 7 xetops crashes for BIG5  
このパッチで修正されるバグ: 4188052

パッチ ID と概要: 107038-01 : SunOS 5.7 apropos/catman/man/whatis patch  
このパッチで修正されるバグ: 4107178 4154565

パッチ ID と概要: 107042-03 : SunOS 5.7 JFP install/sysadm messages patch  
このパッチで修正されるバグ: 4217570 4221453

パッチ ID と概要: 107044-01 : SunOS 5.7 Russian and Polish print failure on some printers  
このパッチで修正されるバグ: 4190105

パッチ ID と概要: 107049-01 : Solaris 7 dtlogin language menu displays wrong info  
このパッチで修正されるバグ: 4176962

(続く)

続き

パッチ ID と概要: 107059-01 : SunOS 5.7 /usr/bin/sort and /usr/xpg4/bin/sort patch  
このパッチで修正されるバグ: 4181185

パッチ ID と概要: 107063-01 : Solaris 7 Thai engine crashes in 64bit mode  
このパッチで修正されるバグ: 4186151

パッチ ID と概要: 107072-01 : CDE 1.3 Spell Checker patch  
このパッチで修正されるバグ: 4185079

パッチ ID と概要: 107074-01 : SunOS 5.7 SUNWultratest doesn't support sun4us platform  
このパッチで修正されるバグ: 4190729

パッチ ID と概要: 107076-01 : SunOS 5.7 /usr/kernel/drv/vol and /usr/kernel/drv/sparcv9/vol patch  
このパッチで修正されるバグ: 4181968

パッチ ID と概要: 107081-03 : Motif 1.2.7 Runtime library patch backdrop scale regression  
このパッチで修正されるバグ: 4159034 4149711 4171291 4170491 4162369 4165677 4171723 4174322  
4183749 4186734 4186826 4128879 4191550 4197157 4197924

パッチ ID と概要: 107094-02 : CDE 1.3 dtterm libDtTerm.so.2 Patch  
このパッチで修正されるバグ: 4177487 4190065

パッチ ID と概要: 107115-01 : SunOS 5.7 /usr/lib/libprint.so.2 patch  
このパッチで修正されるバグ: 4179341

パッチ ID と概要: 107117-03 : SunOS 5.7 libbsm patch  
このパッチで修正されるバグ: 4166626 4167174 4168892 4172111 4172702 4174308 4182072 4187811  
4188193 4194454 4196408 4196541

パッチ ID と概要: 107119-04 : SunOS 5.7 JFP manpages patch  
このパッチで修正されるバグ: 4185342 4190255 4195644 4199110 4222912

パッチ ID と概要: 107121-01 : SunOS 5.7 uata and dad driver patch  
このパッチで修正されるバグ: 4179264 4186223

パッチ ID と概要: 107124-02 : SunOS 5.7 JFP message files patch  
このパッチで修正されるバグ: 4195663 4216216

パッチ ID と概要: 107127-02 : SunOS 5.7 /usr/lib/autofs/automountd patch  
このパッチで修正されるバグ: 4188020

パッチ ID と概要: 107136-01 : Solaris 7 Fixed Dtmal Shortcuts to be consistent with English  
このパッチで修正されるバグ: 4181490

パッチ ID と概要: 107138-01 : Solaris 7 Fixed SUNW5ttf package to display ps files  
このパッチで修正されるバグ: 4178539

パッチ ID と概要: 107147-03 : SunOS 5.7 pci driver patch  
このパッチで修正されるバグ: 4170981 4177530 4180438 4205258 4205298 4224713

パッチ ID と概要: 107148-03 : SunOS 5.7 /kernel/fs/cachefs and /kernel/fs/sparcv9/cachefs patch

(続く)

続き

このパッチで修正されるバグ: 4170190 4170376 4171181

パッチ ID と概要: 107171-02 : SunOS 5.7 Fixes for patchadd and patchrm  
このパッチで修正されるバグ: 4186941 4176890 4190866 4150762 4193454 4194281 4194308 4224092

パッチ ID と概要: 107178-01 : CDE 1.3 libDtHelp.so.1 patch  
このパッチで修正されるバグ: 4193245

パッチ ID と概要: 107180-04 : CDE 1.3 dtlogin patch  
このパッチで修正されるバグ: 4178402 4178408 4178415 4178431 4184874 4189472 4190072 4190214  
4201306 4205939 4198977

パッチ ID と概要: 107185-01 : SunOS 5.7 Miscellaneous Russian KOI8-R problems  
このパッチで修正されるバグ: 4195697 4189003 4194495

パッチ ID と概要: 107187-01 : SunOS 5.7 Miscellaneous Eastern European locale problems  
このパッチで修正されるバグ: 4174452 4179411 4138017

パッチ ID と概要: 107200-03 : CDE 1.3 dtmail patch  
このパッチで修正されるバグ: 4190570 4201459 4191180

パッチ ID と概要: 107209-03 : Solaris 7 WOS Message Updates

パッチ ID と概要: 107219-01 : CDE 1.3 dtprintinfo patch  
このパッチで修正されるバグ: 4007233 4191060 4191065

パッチ ID と概要: 107226-03 : CDE 1.3 dtwm patch  
このパッチで修正されるバグ: 4169837 4209745 4212855

パッチ ID と概要: 107233-01 : OpenWindows 3.6.1 xterm patch  
このパッチで修正されるバグ: 4184297

パッチ ID と概要: 107248-01 : CDE 1.3 sdtaudio patch  
このパッチで修正されるバグ: 4189907

パッチ ID と概要: 107250-02 : OpenWindows 3.6.1 libsv8.so.1 Patch  
このパッチで修正されるバグ: 4194602

パッチ ID と概要: 107259-01 : SunOS 5.7 /usr/sbin/vold patch  
このパッチで修正されるバグ: 4194660

パッチ ID と概要: 107285-01 : SunOS 5.7 passwd & pam\_unix.so.1 patch  
このパッチで修正されるバグ: 4172457

パッチ ID と概要: 107292-01 : SunOS 5.7 ifp driver patch  
このパッチで修正されるバグ: 4185774

パッチ ID と概要: 107293-01 : SunOS 5.7 libgss.so.1 and gsscred patch  
このパッチで修正されるバグ: 4195223

パッチ ID と概要: 107306-01 : CDE 1.3 dtfile patch  
このパッチで修正されるバグ: 1194724 4195992 4185042

(続く)

続き

パッチ ID と概要: 107316-01 : SunOS 5.7 localeconv() returns wrong results for French  
このパッチで修正されるバグ: 4192615

パッチ ID と概要: 107318-04 : SunOS 5.7 Manual Pages for Solaris 7 update 2  
このパッチで修正されるバグ: 4166583 4214692 4214697 4167270 4169315 4180075 4193614 4189427  
4173822 4186746 1070678 4136939 4153439 4162004 4171658 4170933 4169829 4146611 4147612 4165502  
4166848 4178133 4179296 4181039 4181145

パッチ ID と概要: 107330-01 : SunOS 5.7 /usr/sbin/ntpdate patch  
このパッチで修正されるバグ: 4201436

パッチ ID と概要: 107359-01 : SunOS 5.7 BCP (binary compatibility) patch  
このパッチで修正されるバグ: 4198681

パッチ ID と概要: 107401-01 : SunOS 5.7 /usr/bin/iostat patch  
このパッチで修正されるバグ: 4085790

パッチ ID と概要: 107403-01 : SunOS 5.7 rlmmod & telmod patch  
このパッチで修正されるバグ: 4204044

パッチ ID と概要: 107409-01 : Solaris 7 dtfile Menu is localized  
このパッチで修正されるバグ: 4181159

パッチ ID と概要: 107413-01 : Solaris 7 Fix Translation "Incomplete last line" in vi for zh/zh.GBK  
このパッチで修正されるバグ: 4202972

パッチ ID と概要: 107415-01 : Solaris 7 Result of TAB in xetops of zh.GBK isn't the same with vi  
このパッチで修正されるバグ: 4202006

パッチ ID と概要: 107419-01 : Solaris 7 missing snapshot files  
このパッチで修正されるバグ: 4181454

パッチ ID と概要: 107430-01 : SunOS 5.7 Installer utility used by NCR breaks under Solaris 7  
このパッチで修正されるバグ: 4205603

パッチ ID と概要: 107437-02 : Solaris 7 support IBM Cp837 and Cp874 iconv modules(th\_TH)  
このパッチで修正されるバグ: 4212930

パッチ ID と概要: 107438-01 : SunOS 5.7 iso8859-15 locale copy and paste fix  
このパッチで修正されるバグ: 4203951

パッチ ID と概要: 107441-01 : SunOS 5.7 /usr/bin/mailx patch  
このパッチで修正されるバグ: 4207629

パッチ ID と概要: 107443-03 : SunOS 5.7 packaging utilities patch  
このパッチで修正されるバグ: 4155622 4176616 4197238 4199317 4222097 4226928

パッチ ID と概要: 107445-01 : SunOS 5.7 SEA SNMP patch  
このパッチで修正されるバグ: 4144431 4166235 4171108 4172607 4176076 4178419

パッチ ID と概要: 107448-01 : SunOS 5.7 /usr/lib/fs/cachefs/cachefsd patch

(続く)

続き

このパッチで修正されるバグ: 4204223

パッチ ID と概要: 107450-01 : SunOS 5.7 /platform/SUNW,Ultra-Enterprise-10000/lib/cvcd patch  
このパッチで修正されるバグ: 4198962

パッチ ID と概要: 107451-01 : SunOS 5.7 /usr/sbin/cron patch  
このパッチで修正されるバグ: 4196408

パッチ ID と概要: 107453-01 : SunOS 5.7 Ultra-80 platform patch  
このパッチで修正されるバグ: 4210707

パッチ ID と概要: 107454-01 : SunOS 5.7 /usr/bin/ftp patch  
このパッチで修正されるバグ: 4138598

パッチ ID と概要: 107456-01 : SunOS 5.7 /etc/nsswitch.dns patch  
このパッチで修正されるバグ: 1194875

パッチ ID と概要: 107458-01 : SunOS 5.7 sd & ssd drivers patch  
このパッチで修正されるバグ: 4169315 4169319 4196836

パッチ ID と概要: 107459-01 : SunOS 5.7 qec driver patch  
このパッチで修正されるバグ: 4106428

パッチ ID と概要: 107460-01 : SunOS 5.7 st driver patch  
このパッチで修正されるバグ: 4166568 4166583

パッチ ID と概要: 107462-01 : SunOS 5.7 /kernel/sched/TS patch  
このパッチで修正されるバグ: 4201921

パッチ ID と概要: 107499-02 : SunOS 5.7 koi8-R -ow hanged before dtlogin screen  
このパッチで修正されるバグ: 4192535

パッチ ID と概要: 107546-02 : OpenWindows 3.6.1 Ultra 80 Support Patch  
このパッチで修正されるバグ: 4212493

パッチ ID と概要: 107577-01 : SunOS 5.7 japanese installer utility patch  
このパッチで修正されるバグ: 4221385

パッチ ID と概要: 107628-01 : SunOS 5.7 sdtwebstart.dt 599 I10n\_euro message updates

パッチ ID と概要: 107691-01 : SunOS 5.7 I10n\_euro message updates for SUNW\*is SUNW\*os 599

パッチ ID と概要: 107700-01 : Solaris 7 FIxes the installation warning for zh.GBK  
このパッチで修正されるバグ: 4222076